



都営交通
TOEI TRANSPORTATION

2020 経営レポート

Management report



はじめに

日頃から、都営交通をご利用いただき、ありがとうございます。

東京都交通局は、都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム（都電荒川線）、日暮里・舎人ライナー、上野動物園モノレール及び発電の6事業並びにこれらに関連する事業を運営しています。

経営に当たっては、東京の都市活動や都民生活を支える公共交通機関としての使命を果たすため、安全・安心の確保を最優先に、接遇の向上や快適な施設の整備に取り組む一方、コスト縮減や業務運営の効率化などにも努めています。

このレポートは、東京都交通局の経営状況等を簡潔にまとめ、お客様や都民の皆様の、交通局事業に対する理解と信頼とを得ることを目的として作成しています。

目次

1 都営交通について

P3 都営交通について

2 経営の状況

P5 事業別の状況

P7 財務指標（営業収益）

P9 財務指標（経常損益）

P11 運輸成績表、決算総括表

P13 貸借対照表、キャッシュ・フロー
計算書

-
- (凡例) 数値については、原則として、表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合があります。
金額については、原則として、税抜きで表示しています。
一日平均は、営業日数で除したものです。
(2019年度営業日数 上野動物園モノレール：190日（動物園休園日及び11月1日からは運行休止）、その他：366日）
- (報告期間) 報告対象期間は、2019年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）です。
ただし、必要に応じて当期間の前後についても言及しています。
-

3 経営指標比較 (事業別)

- P15 比較対象団体、使用する指標
- P17 高速電車事業／都営地下鉄
- P21 自動車運送事業／都営バス
- P25 軌道事業／東京さくらトラム
(都電荒川線)
- P27 新交通事業／日暮里・舎人ライナー
- P31 電気事業／発電
- P33 関連事業
(不動産等活用事業・広告事業・構内営業事業)

経営理念

私たち都営交通は、都民やお客様に信頼され、
支持される公共交通機関として、
安全・安心を何よりも大切にし、
東京の都市活動や都民生活を支えていきます。

経営方針	主な計画事業 (2019年度-2021年度)	計画事業費 (2019年度-2021年度)
都民やお客様の信頼に応えるため、 安全・安心を最優先し、 全職員が一丸となって、 災害に強く、事故のない 都営交通を実現します。	○安全対策の強化 ○災害対策等の強化	1,663 億円
お客様が求める 質の高いサービスを提供し、 快適で利用しやすい 都営交通を実現します。	○輸送需要への的確な対応 ○旅行者にも利用しやすい 環境の整備 ○新たなバスモデルの展開	1,172 億円
首都東京が抱える 様々な課題に果敢に挑戦し、 東京の発展に貢献する 都営交通を実現します。	○まちづくりとの連携 ○持続可能な社会の実現 への貢献 ○沿線地域の発展に貢献	761 億円
事業環境の変化にも 迅速かつ的確に対応するとともに、 中長期的に安定した 事業運営を行っていくため、 経営基盤を強化します。	○関連事業の推進 ○安定的な人材の確保と育成	50 億円





職員数
(2020年3月31日)

事業

指標
(2019年度)

6,404 名^{*1}

<内訳>

事務	1,369名
技術	747名
運転	2,755名
地下鉄車掌	244名
鉄道営業	561名
交通技能	641名
その他	87名

^{*1} 再任用短時間勤務職員除く。

◆高速電車事業会計
・ 都営地下鉄

◆交通事業会計
・ 都営バス
・ 東京さくらトラム
（都電荒川線）
・ 日暮里・舎人ライナー
・ 上野動物園モノレール

◆電気事業会計
・ 発電

※関連事業
・ 不動産等活用事業
・ 広告事業
・ 構内営業事業 等

乗車人員（5事業合計^{*2}）

13.2 億人

営業収益

2,039 億円

経常利益

279 億円

^{*2}
都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム
（都電荒川線）、日暮里・舎人ライナー及び
上野動物園モノレールの5事業を指す。



2 経営の状況
事業別の状況

交

通局は以下の三つの会計を設け、地方公営企業法に基づいてそれぞれの事業を経理しています。

- ・ 高速電車事業会計
- ・ 交通事業会計（自動車運送事業・軌道事業・新交通事業・懸垂電車事業）
- ・ 電気事業会計

2019年度事業別主要数値(対前年度比)

	都営地下鉄	都営バス	東京さくらトラム (都電荒川線)
			
(販売電力量)			
乗車人員			
年間(万人・MWh)	103,633 (0.6% ↑)	23,157 (0.8% ↓)	1,709 (1.5% ↓)
一日平均 (万人・kWh)	283.2 (0.4% ↑)	63.3 (1.1% ↓)	4.7 (1.7% ↓)
(電力料収入)			
乗車料収入			
年間(億円)	1,434 (0.2% ↓)	363 (1.0% ↓)	21 (1.7% ↓)
一日平均 (万円)	39,187 (0.5% ↓)	9,910 (1.3% ↓)	571 (2.0% ↓)
経常損益(億円)	299.5 (52.2億円 ↓)	△17.4 (27億円 ↓)	△5.8 (2.2億円 ↓)
未処分利益剰余金 <△累積欠損金> (億円)	△1,937.1 (300.8億円 ↑)	37.7 (17.6億円 ↓)	△9.6 (5.8億円 ↓)

上野動物園

モノレール

※2019年11月1日
から運行休止日暮里・舎人
ライナー

3,321 (2.4%↗)

9.1 (2.1%↗)

58 (2.1%↗)

1,584 (1.8%↗)

△5.8 (0.3億円↘)

△163.3 (5.8億円↘)



68 (29.8%↘)

0.4 (4.3%↘)

0.8 (29.9%↘)

42 (4.4%↘)

0.4 (0.3億円↗)

3.1 (0.4億円↗)

発 電



116,956 (6.3%↗)

319,553 (5.5%↗)

17 (6.3%↗)

451 (5.5%↗)

7.7 (0.8億円↗)

7.7 (0.8億円↗)

2 経営の状況

財務指標（営業収益）

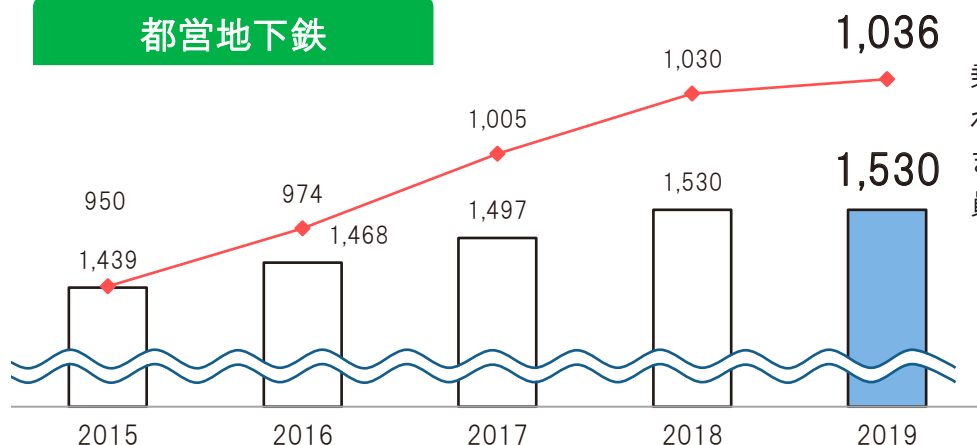
財務指標

企業の経営活動の結果は決算に集約されます。交通局の経営状況を客観的に評価するため、決算の数値に基づいて、財務に関する指標を算定しました。指標については、安定した事業運営の基本である収益性の観点から選定しました。

営業収益（2015年度－2019年度）

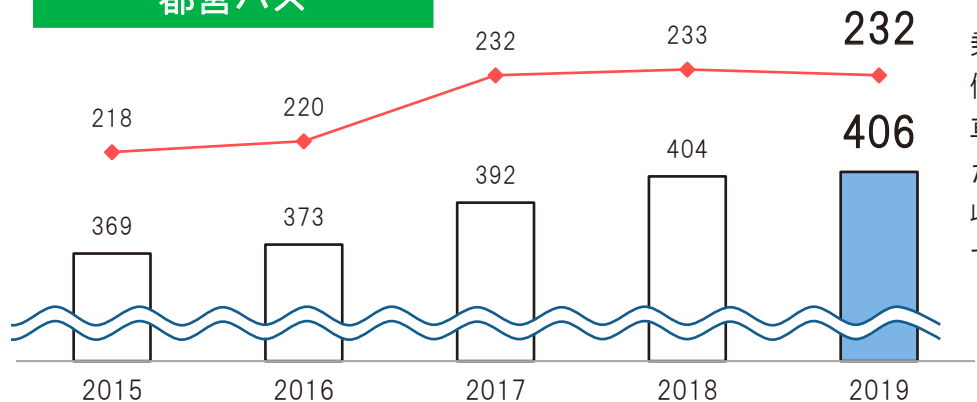
売上に相当し、乗車料、電力料、関連事業収入などが含まれます。

都営地下鉄



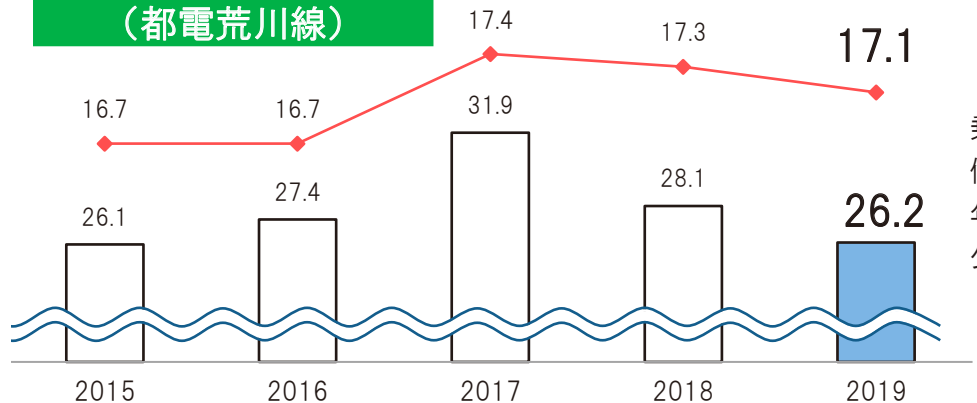
乗車人員は近年増加傾向にあり、それに合わせて営業収益も増加しています。2015年度と比較して、乗車人員は9%増加、営業収益は6%増加しています。

都営バス



乗車人員・営業収益ともに近年増加傾向にありましたが、2019年度は乗車人員が前年度より0.8%減少しました。営業収益については、関連事業収入の増加により0.5%増加しています。

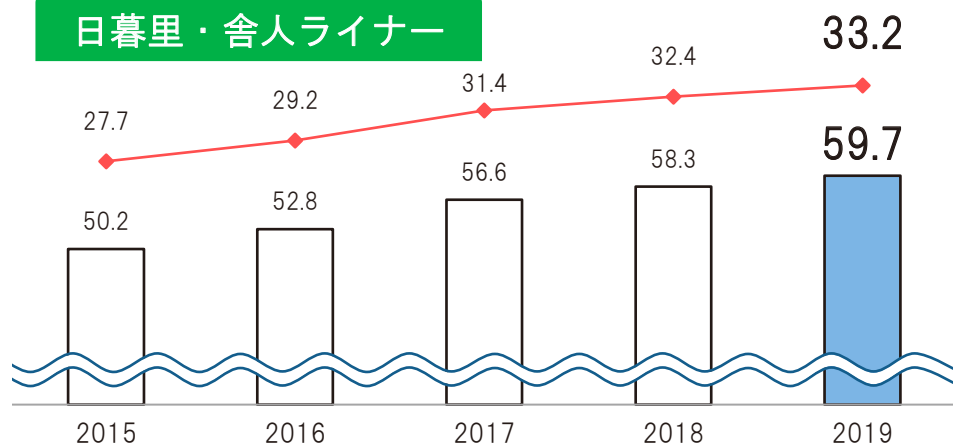
東京さくらトラム （都電荒川線）



乗車人員・営業収益ともに近年増加傾向にありましたが、2019年度は前年度と比較して、乗車人員は1.5%減少、営業収益は7%減少しています。

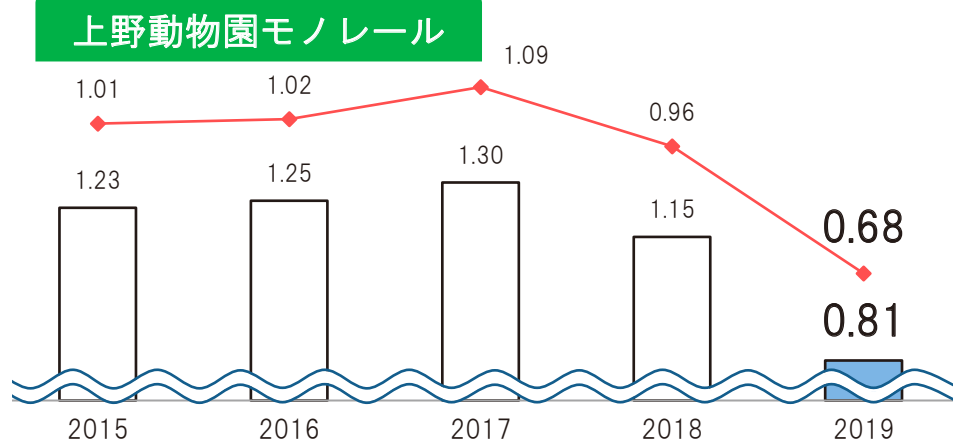
- 営業収益(億円/年)
 ◆ 乗車人員(百万人/年)
 <販売電力量(MWh/年)>

日暮里・舎人ライナー



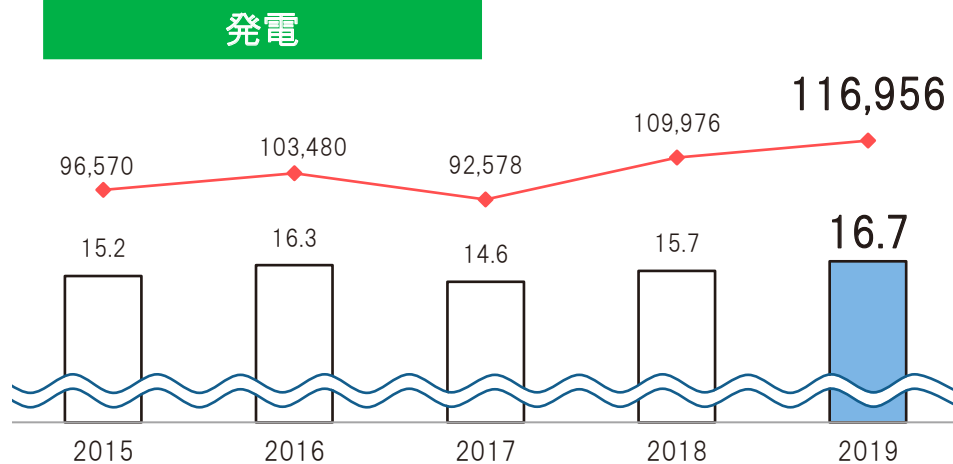
乗車人員は近年増加傾向にあり、それに合わせて営業収益も増加しています。2019年度は2015年度と比較して、乗車人員は20%増加、営業収益は19%増加しています。

上野動物園モノレール



2019年度は11月1日から運行を休止しているため、前年度と比較して、乗車人員・営業収益ともに減少しています。

発電

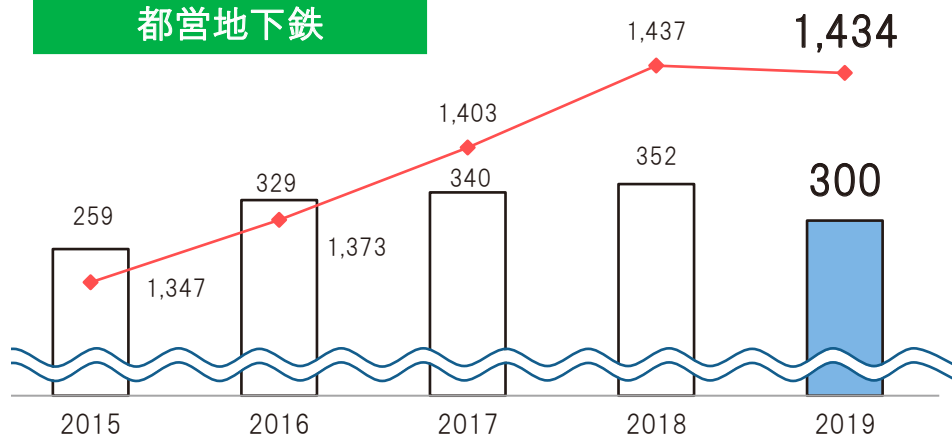


ダム放流量の増減等により発電量が左右されることから、年度ごとの増減が大きくなっています。2019年度は前年度と比較して、販売電力量は6%増加、営業収益は6%増加しています。

経常損益（2015年度－2019年度）

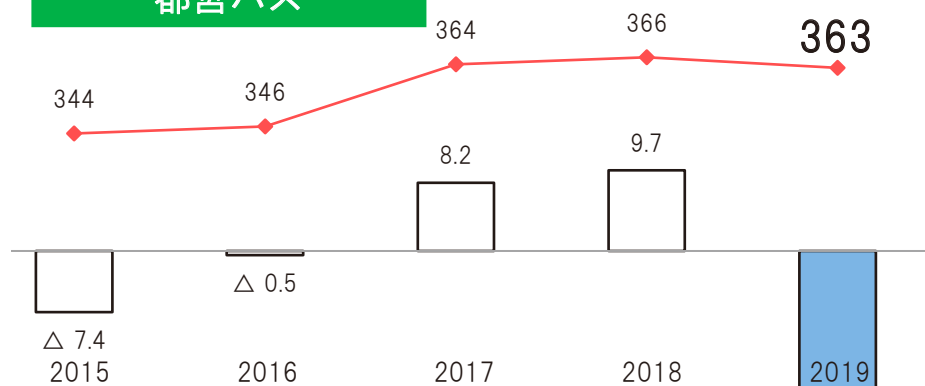
企業の継続的な活動による損益で、本業の損益に財産収入や支払利息などを加えたものです。

都営地下鉄



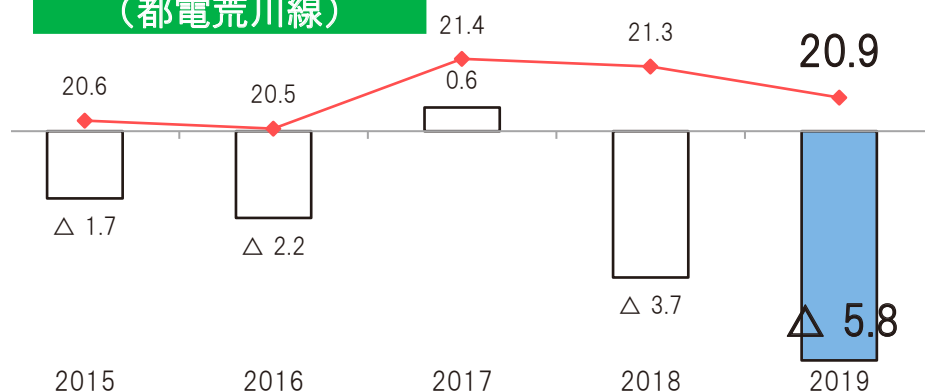
乗車料収入・経常損益ともに近年増加傾向にありましたが、2019年度は前年度と比較して、乗車料収入は3億円減少、経常損益は52億円減少しています。

都営バス



乗車料収入は近年増加傾向にありましたが、2019年度は前年度と比較して3億円減少しています。経常損益は2015年度を底に改善傾向にありましたが、2019年度は前年度と比較して10億円減少しています。

東京さくらトラム （都電荒川線）



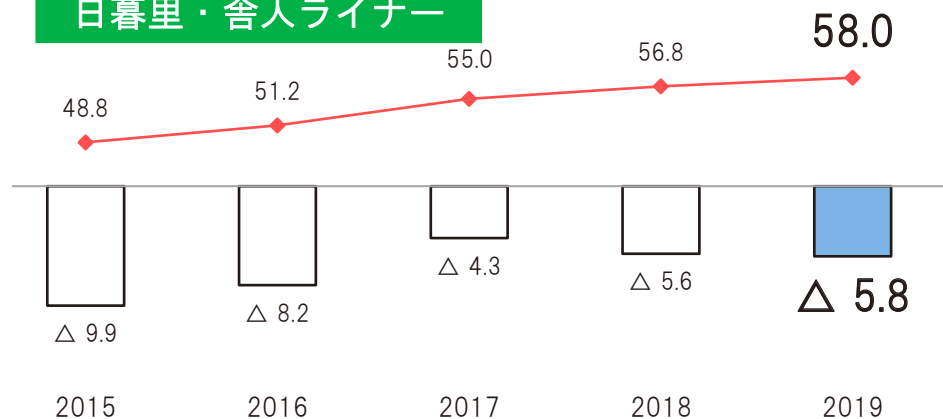
乗車料収入は前年度と比較して0.4億円減少しています。経常損益は近年赤字傾向が続いているなかで2017年度は黒字となりましたが、2019年度は前年度と比較して2.1億円減少し、前年度に引き続き赤字となっています。

□ 経常損益(億円/年)

◆ 乗車料収入(億円/年)

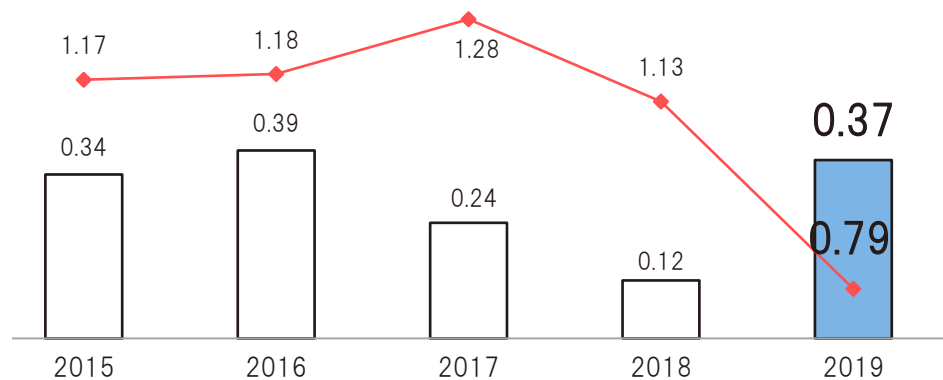
<電力料収入(億円/年)>

日暮里・舎人ライナー



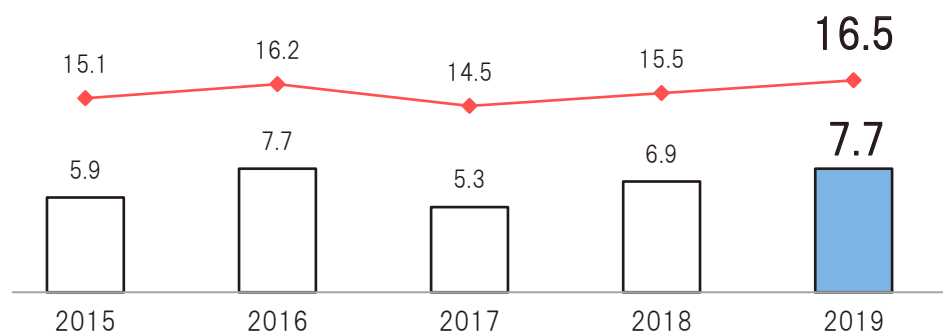
乗車料収入は近年増加傾向にあり、2019年度は2015年度と比較して9.2増加しました。それに合わせて経常損益も改善傾向にありましたが、2019年度は前年度と比較して0.2億円減少しました。

上野動物園モノレール



2019年度は11月1日以降休止しているため、前年度と比較して0.34億円減少しました。経常損益は、前年度と比較して0.25億円増加しました。

発電



売電単価や発電量の違いにより、年度ごとの増減が大きくなっています。前年度と比較して、電力料収入は1.0億円増加、経常損益は0.8億円増加しています。

運輸成績表 (2019年度)

事業名	車両数 期末 (両)	走行キロ 年間 (千km)	乗車人員		乗車料収入	
			年間 (億人)	一日平均 (万人)	年間 (億円)	一日平均 (万円)
都 営 地 下 鉄	1,174	123,397	10.3	283.2	1,434	39,187
浅 草 線	224	22,580	2.8	76.8	325	8,882
三 田 線	222	21,179	2.5	67.8	303	8,287
新 宿 線	264	32,546	2.9	79.4	374	10,221
大 江 戸 線	464	47,092	3.6	97.8	432	11,797
都 営 バ ス	1,522	45,770	2.3	63.3	363	9,910
乗 合	1,514	45,492	2.3	63.2	360	9,832
貸 切	8	278	0.004	0.1	3	78
東京さくらトラム (都電荒川線)	33	1,481	0.2	4.7	21	571
日 暮 里 ・ 舎 人 ラ イ ナ ー	100	7,800	0.3	9.1	58	1,584
上 野 動 物 園 モ ノ レ ー ル	-	7	0.007	0.4	1	42
合 計	2,829	178,455	13.2	360.3	1,877	51,274
発 電	水力発電所 (3か所) 多摩川第一発電所 認可最大出力/19,000kW 多摩川第三発電所 認可最大出力/16,400kW 白丸発電所 認可最大出力/ 1,100kW				販売電力量 116,956MWh 電力料収入 1,651百万円	

(注)

- 1 都営地下鉄の乗車人員合計は、自線内相互の乗換人員を1人として計算したものであり、4線の乗車人員の単純合計ではない。
- 2 上野動物園モノレールは、動物園休園日及び2019年11月1日からは運行を休止している。

ホームページへの掲載について

2019年度決算の詳細については、ホームページからダウンロードしてご覧いただけます。
 東京都交通局ホームページ > 交通局について > 経営情報 > 決算 > 令和元年度決算
https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/closing/r01_closing.html



決算総括表（2019年度）

（単位：百万円）

			高速電車 事業会計	交通事業会計					電気事業 会計
				自動車 運送事業	軌道事業	新交通 事業	懸垂電車 事業	計	
収益的収支	収入	営業収益	153,006	40,555	2,623	5,968	81	49,227	1,670
		乗車料・電力料	143,425	36,271	2,089	5,797	79	44,237	1,651
		その他	9,582	4,284	534	171	1	4,990	18
		営業外収益	14,204	1,014	892	120	1	2,027	28
		一般会計補助金	3,905	437	21	34	-	493	1
		長期前受金戻入	9,581	130	11	1	-	141	26
		その他	718	447	859	85	1	1,393	1
		特別利益	125	0	-	-	-	0	-
	計	167,335	41,569	3,515	6,088	82	51,254	1,698	
	支出	営業費用	131,854	42,923	3,208	6,264	45	52,439	924
		人件費	36,119	26,152	1,133	959	25	28,268	173
		物件費	52,020	12,822	1,467	3,529	20	17,837	536
		減価償却費	43,715	3,949	608	1,776	-	6,333	216
		営業外費用	5,404	386	889	405	0	1,680	0
		利子及取扱費	5,095	70	8	298	-	376	-
		その他	309	315	881	107	0	1,303	0
		特別損失	0	17	-	0	-	17	-
	計	137,258	43,326	4,096	6,669	45	54,136	925	
	損益	営業損益	21,152	△ 2,368	△ 585	△ 296	36	△ 3,212	745
		経常損益	29,952	△ 1,740	△ 582	△ 581	37	△ 2,865	773
		償却前損益	64,086	2,080	15	1,195	37	3,327	962
		純損益	30,077	△ 1,757	△ 582	△ 581	37	△ 2,882	773
資本的収支	収入	企業債	5,000	6,900	210	3,660		10,770	-
		一般会計出資金	9,964	-	-	396		396	-
		国庫補助金	1,588	17	-	-		17	-
		一般会計補助金	1,768	16	-	-		16	-
		その他	144	209	22	0		232	-
		計	18,464	7,142	232	4,056		11,430	-
	支出	建設改良費	48,667	9,814	228	1,826		11,868	200
		企業債償還金	37,264	2,200	-	4,100		6,300	-
		投資	17,176	-	-	-		-	-
		計	103,108	12,014	228	5,926		18,168	200
	収支差額		△ 84,644	△ 4,872	4	△ 1,870		△ 6,738	△ 200

貸借対照表 (2019年度)

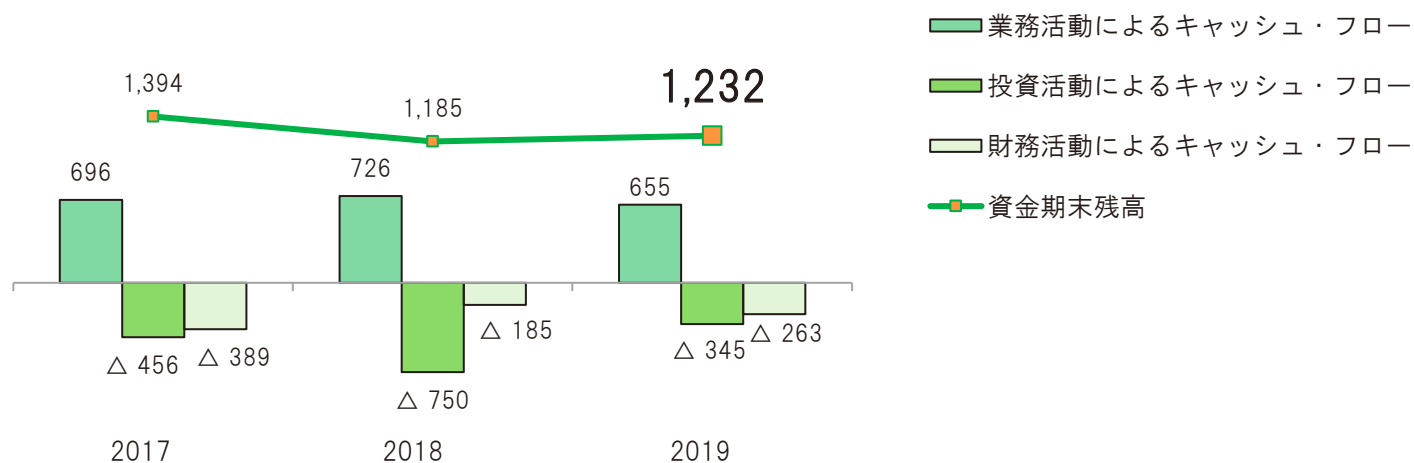
(単位：百万円)

	高速電車 事業会計	交通 事業会計	電気 事業会計		高速電車 事業会計	交通 事業会計	電気 事業会計
(資産の部)				(負債の部)			
1 固定資産	1,383,500	184,714	3,802	3 固定負債	694,098	67,002	162
有形固定資産	1,325,530	77,693	3,793	企業債	210,816	48,182	—
無形固定資産	1,422	225	8	長期借入金	245,000	—	—
投資その他の資産	56,548	106,796	1	リース債務	440	165	3
2 流動資産	186,704	41,941	6,093	引当金	29,215	18,655	159
現金及び預金	123,187	29,828	5,094	その他固定負債	208,627	—	—
未収金	19,646	5,524	91	4 流動負債	96,843	20,820	221
有価証券	30,304	5,884	812	企業債	57,521	4,700	—
貯蔵品	2,705	183	—	リース債務	258	95	2
短期貸付金	4,175	—	—	未払金	26,588	9,361	202
前払費用	64	12	0	未払費用	332	26	—
前払金	6,578	508	96	前受金	8,188	1,227	0
未収収益	17	1	0	引当金	2,556	1,878	16
その他流動資産	28	—	—	預り金	1,401	3,534	1
				5 繰延収益	406,171	1,752	599
				長期前受金	406,171	1,752	599
				負債合計	1,197,112	89,574	982
				(資本の部)			
				6 資本金	467,185	53,987	2,961
				一般会計出資金	467,185	9,628	—
				再評価積立金組入額	—	1,261	—
				減債積立金組入額	—	30,900	1,633
				その他剰余金組入額	—	12,198	1,328
				7 剰余金	△ 94,092	83,959	5,953
				資本剰余金	99,616	172	0
				利益剰余金(△欠損金)	△ 193,708	83,787	5,953
				8 評価差額等	—	△ 865	—
				その他有価証券評価差額	—	△ 865	—
				資本合計	373,093	137,081	8,914
資産合計	1,570,205	226,655	9,895	負債資本合計	1,570,205	226,655	9,895

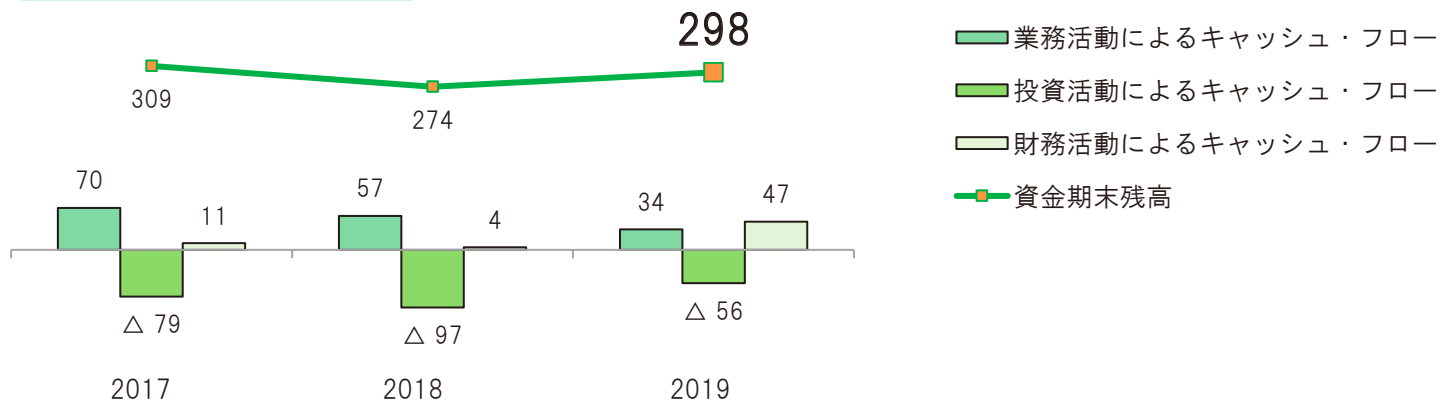
キャッシュ・フロー計算書（2017年度－2019年度）

（単位：億円）

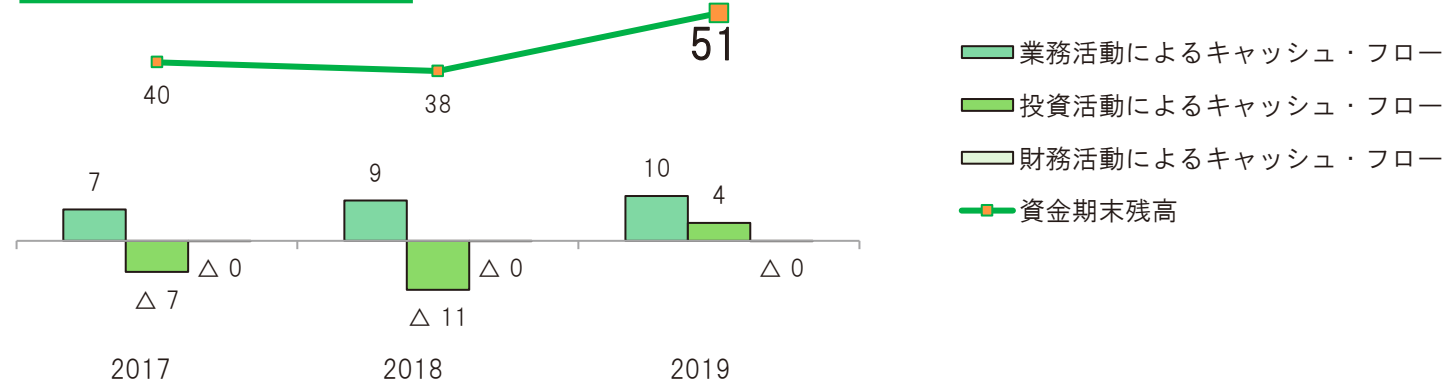
高速電車事業会計



交通事業会計



電気事業会計



3 経営指標比較（事業別） 比較対象団体、使用する指標

交通局の経営状況について、指標を用いて、他都市との比較・分析を行いました。

また、都営地下鉄の路線別収支状況や都営バスの系統別収支状況のほか、関連事業の経営状況についても掲載しました。

なお、各指標は2018年度までの数値を使用しています。

引き続き、経営の透明性を高めていく観点から、積極的な経営情報の公開に取り組んでいきます。

◆ 比較対象団体

事業名	団体	団体数
高速電車事業/ 都営地下鉄	札幌市 仙台市 東京都 横浜市 名古屋市 京都市 神戸市 福岡市 【民営化】 (2018年度) 大阪市	8
自動車運送事業/ 都営バス	青森市 八戸市 仙台市 東京都 三宅村 八丈町 横浜市 川崎市 南アルプス市 伊那市 名古屋市 京都市 高槻市 神戸市 伊丹市 松江市 宇部市 徳島市 北九州市 佐賀市 長崎県 佐世保市 鹿児島市 沖永良部バス企業団 【民営化】 (2018年度) 大阪市 【廃止】 (2014年度) 岩国市 小松島市 松浦市 熊本市 (2015年度) 尼崎市	24
軌道事業/ 東京さくらトラム (都電荒川線)	札幌市 函館市 東京都 熊本市 鹿児島市	5
新交通事業/ 日暮里・舎人 ライナー ※懸垂電車事業含む	東京都 【民営化】 (2018年度) 大阪市	1
電気事業/ 発電	北海道 岩手県 秋田県 山形県 美浦村 栃木県 群馬県 東京都 神奈川県 新潟県 富山県 金沢市 山梨県 長野県 三重県 京都府 兵庫県 鳥取県 島根県 岡山県 山口県 徳島県 愛媛県 高知県 福岡県 熊本県 大分県 宮崎県	28

(注)

- 1 他団体の使用数値は、総務省「地方公営企業決算状況調査」（平成26年度～平成30年度）による。
2019年度数値は本レポート作成時点で未公表
- 2 新交通事業の数値には懸垂電車事業の数値も含む。
- 3 各指標の「平均値」は上記の表の団体の平均（団体数は2018年度の数値）
- 4 新交通事業は、比較対象の団体（1団体）が2018年度から民営化したため、平均値は2017年度までとしている。

◆使用する指標

指標	単位	指標の説明	都営 地下鉄	都営 バス	東京 さくら トラム	発電
営業収支比率	%	当該年度において料金収入等の営業活動から生じる収益で、人件費や燃料費、発電費等の営業費用をどの程度賄えているかを表す。	○	○	○	○
経常収支比率	%	当該年度において料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、人件費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す。	○	○	○	○
流動比率	%	短期的な債務の支払能力を表す。	○	○	○	○
累積欠損金比率	%	事業の規模に対する累積欠損金（営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した損失のこと。）の状況を表す。	○	○	○	—
利用者1回当たり運行経費	円	利用者がバス等を1回利用するに当たり、費用がどれだけ掛かっているかを表す。	○	○	○	—
他会計負担比率	%	人件費や支払利息等の費用が一般会計等の他会計の負担によってどの程度賄われているかを表す。	○	○	○	—
企業債残高対料金収入比率	%	料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す。	○	○	○	○
有形固定資産減価償却率	%	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す。	○	○	○	○
走行キロ当たりの収入	円	運行1キロ当たりでどれだけの収入を上げられているかを表す。	○	○	○	—
走行キロ当たりの運送原価	円	運行1キロ当たりでどれだけの経費が掛かっているかを表す。	○	○	○	—
走行キロ当たりの人件費	円	運行1キロ当たりでどれだけの人件費が掛かっているかを表す。	○	○	○	—
乗車効率	%	車両1台の乗車定員に対する平均輸送人員の割合であり、定員当たりでどの程度乗車しているかを表す。	○	○	○	—
供給原価	円	販売電力量1MWh当たりでどれだけの費用が掛かっているかを表す。	—	—	—	○
設備利用率	%	本来備えている発電能力と実際の発電電力量との割合であり、設備の利用状況や適正規模を判断する指標	—	—	—	○
修繕費比率	%	費用のうち、施設修繕、管理やメンテナンスに掛かっている割合を表す。	—	—	—	○



高速電車事業 / 都営地下鉄

都営地下鉄は、浅草線・三田線・新宿線・大江戸線の4路線を営業し、2019年度は、一日平均約283万人のお客様にご利用いただきました。

年間輸送人員

10億人

在籍車両数

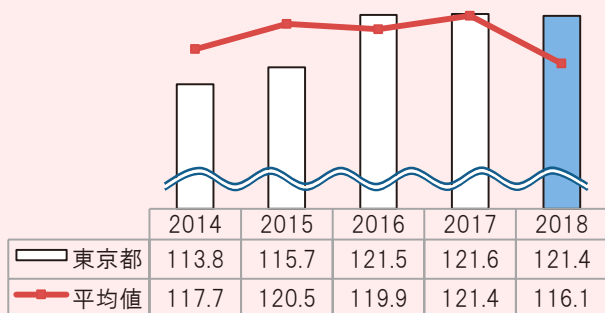
1,174両

経営の健全性

営業収支比率 (%)

＝営業収益/営業費用×100

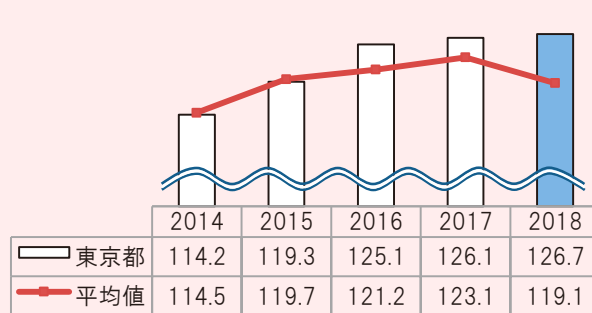
121.4%



経常収支比率 (%)

＝経常収益/経常費用×100

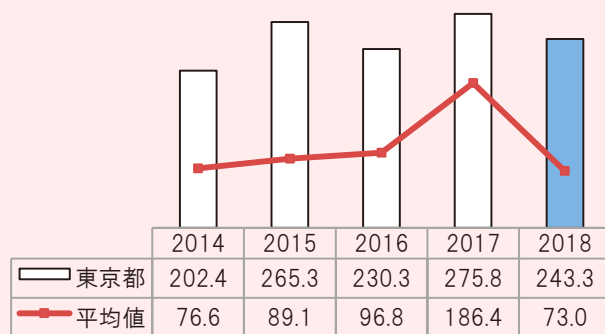
126.7%



流動比率 (%)

＝流動資産/流動負債×100

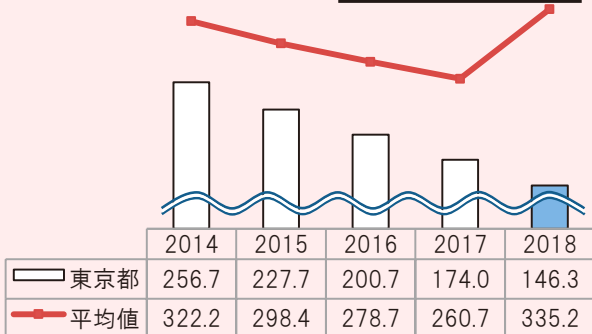
243.3%



累積欠損金比率 (%)

＝当年度未処理欠損金/営業収益×100

146.3%

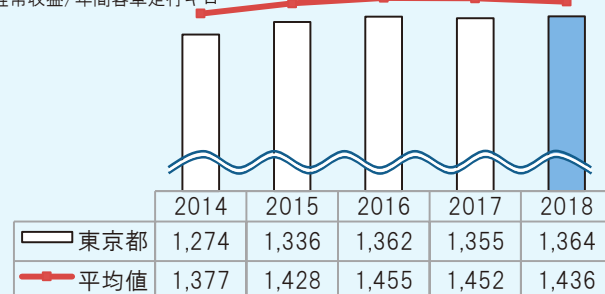


経営の効率性

走行キロ当たりの
収入 (円)

＝経常収益/年間客車走行キロ

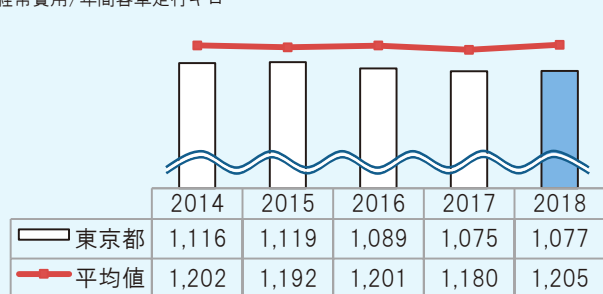
1,364円



走行キロ当たりの
運送原価 (円)

＝経常費用/年間客車走行キロ

1,077円



経営の健全性

- 「経常収支比率」が右肩上がりで推移し安定して黒字を計上していることなどから、「累積欠損金比率」は低下傾向です。
- 「利用者1回当たり運行経費」及び「他会計負担比率」は平均値を下回っています。
- 「企業債残高対料金収入比率」は企業債残高の減少により低下傾向にあります。

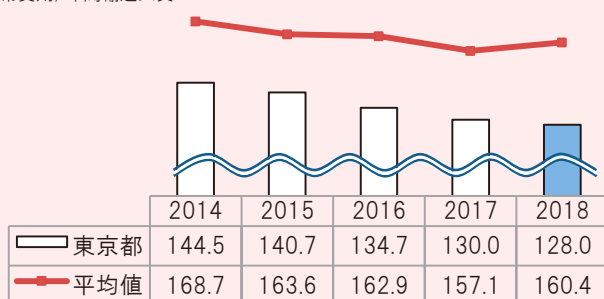
経営の効率性

- 「乗車効率」は平均値を上回るとともに、輸送人員の増加を反映して、上昇傾向にあります。

利用者1回当たり
運行経費（円）

＝経常費用/年間輸送人員

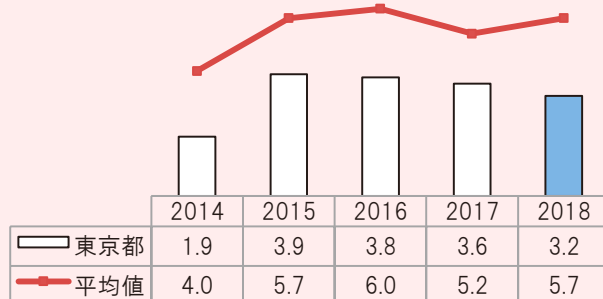
128.0円



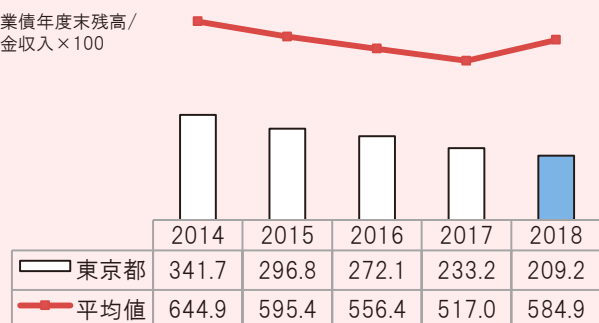
他会計負担比率（％）

＝（他会計補助金＋他会計負担金）/経常費用×100

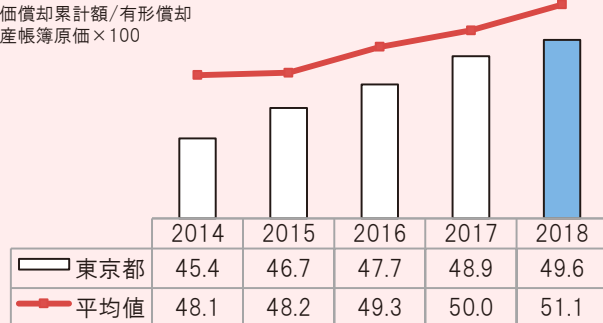
3.2%

企業債残高対料金
収入比率（％）＝企業債年度末残高/
料金収入×100

209.2%

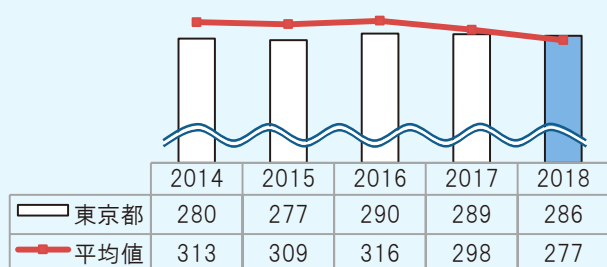
有形固定資産
減価償却率（％）＝減価償却累計額/有形償却
資産帳簿原価×100

49.6%

走行キロ当たり
の人件費（円）

＝職員給与費/年間客車走行キロ

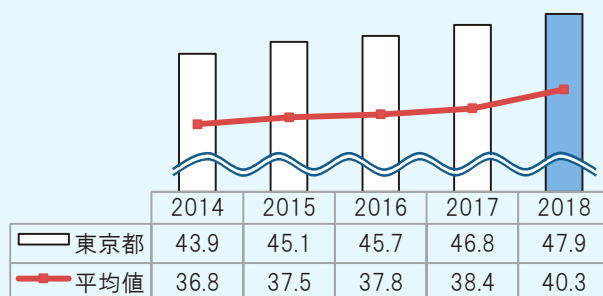
286円



乗車効率（％）

＝{延人キロ/（年間客車走行キロ
×平均乗車定員数）}×100

47.9%



3 経営指標比較（事業別）

【都営地下鉄】路線別収支・駅別一日平均乗降人員（2019年度）



浅草線

収益の収入	349 億円
収益の支出	226 億円
損益額	123 億円
乗車料収入	0.9 億円／日
乗車人員	77 万人／日
営業係数	65



三田線

収益の収入	332 億円
収益の支出	249 億円
損益額	84 億円
乗車料収入	0.8 億円／日
乗車人員	68 万人／日
営業係数	75

（単位：人・％）

順位	駅名	2019年度	前年比
1	日本橋	101,779	1.4
2	新橋	100,183	▲ 0.9
3	東銀座	86,726	0.7
4	東日本橋	84,888	▲ 0.3
5	五反田	71,027	▲ 0.3
6	浅草橋	60,380	▲ 1.8
7	押上	57,624	▲ 1.8
8	人形町	56,210	2.1
9	浅草	55,671	▲ 1.6
10	大門	53,233	3.3
11	三田	53,141	1.4
12	西馬込	49,538	1.7
13	泉岳寺	43,134	▲ 2.6
14	蔵前	37,943	0.9
15	宝町	32,982	2.3
16	中延	31,947	0.1
17	馬込	29,491	1.8
18	戸越	22,712	1.5
19	本所吾妻橋	19,630	1.4
20	高輪台	14,863	▲ 1.1

（単位：人・％）

順位	駅名	2019年度	前年比
1	大手町	110,710	2.8
2	日比谷	95,622	3.3
3	巣鴨	94,567	▲ 1.3
4	神保町	67,143	0.2
5	御成門	52,228	6.3
6	白山	51,183	▲ 0.3
7	三田	50,241	1.2
8	水道橋	47,746	▲ 1.5
9	内幸町	44,741	▲ 2.0
10	板橋本町	36,282	1.7
11	春日	35,562	0.5
12	板橋区役所前	35,277	0.2
13	芝公園	33,271	3.1
14	志村三丁目	32,536	0.5
15	志村坂上	30,924	▲ 1.2
16	千石	30,729	▲ 2.1
17	高島平	30,651	▲ 0.4
18	西巣鴨	30,335	▲ 0.7
19	新板橋	30,233	▲ 2.4
20	白金高輪	28,223	0.1
21	西台	27,098	▲ 1.2
22	本蓮沼	26,019	1.1
23	目黒	23,860	0.7
24	蓮根	19,459	▲ 1.1
25	西高島平	13,606	1.6
26	白金台	10,663	▲ 1.9
27	新高島平	10,000	0.0

S 新宿線

収益的収入 420 億円

収益的支出 316 億円

損益額 105 億円

乗車料収入 1.0 億円／日

乗車人員 79 万人／日

営業係数 75

E 大江戸線

収益的収入 572 億円

収益的支出 582 億円

損益額 ▲10 億円

乗車料収入 1.2 億円／日

乗車人員 98 万人／日

営業係数 102

(単位：人・%)

順位	駅名	2019年度	前年比
1	馬喰横山	118,024	0.2
2	九段下	115,034	▲ 0.6
3	新宿	110,117	▲ 0.6
4	市ヶ谷	101,093	▲ 0.0
5	本八幡	81,242	1.0
6	小川町	74,725	1.6
7	新宿三丁目	74,576	▲ 0.1
8	船堀	64,062	▲ 0.8
9	神保町	58,351	0.7
10	瑞江	57,071	▲ 0.1
11	岩本町	55,446	0.2
12	住吉	44,974	0.5
13	一之江	44,708	0.2
14	篠崎	41,165	0.4
15	曙橋	39,245	0.3
16	大島	34,111	▲ 0.7
17	東大島	32,240	▲ 1.5
18	西大島	29,561	0.8
19	菊川	25,887	0.6
20	森下	23,381	▲ 0.8
21	浜町	23,188	▲ 0.0

(単位：人・%)

順位	駅名	2019年度	前年比
1	勝どき	108,147	5.9
2	六本木	98,539	▲ 5.1
3	門前仲町	88,879	1.0
4	新宿	85,526	▲ 1.8
5	練馬	82,576	1.4
6	青山一丁目	77,984	▲ 0.5
7	大門	76,407	3.3
8	月島	75,411	0.2
9	光が丘	63,120	▲ 0.7
10	新宿西口	61,649	▲ 0.7
11	上野御徒町	59,753	▲ 0.4
12	新御徒町	57,712	5.1
13	汐留	53,734	▲ 1.5
14	都庁前	51,967	▲ 0.4
15	清澄白河	43,537	1.8
16	赤羽橋	42,784	▲ 0.7
17	東新宿	42,014	▲ 1.4
18	中野坂上	41,990	1.1
19	代々木	38,284	▲ 1.2
20	麻布十番	37,018	▲ 3.0
21	両国	36,066	2.1
22	西新宿五丁目	36,022	▲ 0.2
23	蔵前	35,663	1.1
24	飯田橋	34,055	▲ 0.7
25	若松河田	32,326	▲ 0.1
26	新江古田	30,008	4.1
27	落合南長崎	28,212	0.7
28	東中野	27,654	▲ 0.4
29	春日	26,347	1.1
30	築地市場	26,265	▲ 13.2
31	中井	25,767	▲ 0.1
32	練馬春日町	23,110	0.5
33	本郷三丁目	22,270	0.2
34	牛込柳町	21,251	0.4
35	森下	15,953	▲ 0.1
36	牛込神楽坂	15,243	0.0
37	豊島園	12,410	1.4
38	国立競技場	10,764	4.4

(注)

- 1 2019年度決算値を基に推計している。
- 2 収入及び支出は、全体の金額を営業キロ等で各路線に配分している。
- 3 乗車人員は、乗車券の発売等のデータを基に推計している。
- 4 営業係数は、その路線が100円の収入を得るために、どれだけの支出が必要かを示す数値
支出÷収入×100で算出し、営業係数100未満が黒字、100を超えると赤字
- 5 推計方法の見直し等により、今後、数値が改定される場合がある。



自動車運送事業 / 都営バス

都営バスは、主に東京都のJR山手線と荒川とに囲まれた地域の内側及び江戸川区の一部並びに多摩地域の一部で運行しており、2019年度は、一日平均約63万人のお客様にご利用いただきました。

年間輸送人員

2.3億人

在籍車両数

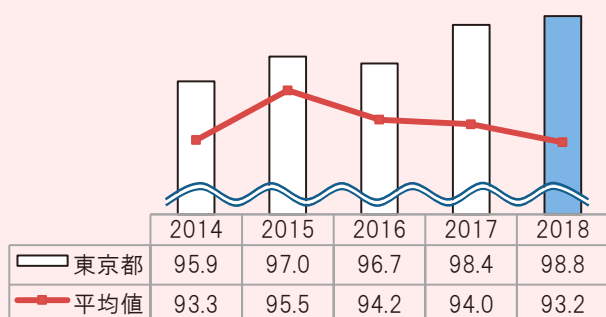
1,522両

経営の健全性

営業収支比率 (%)

＝営業収益/営業費用×100

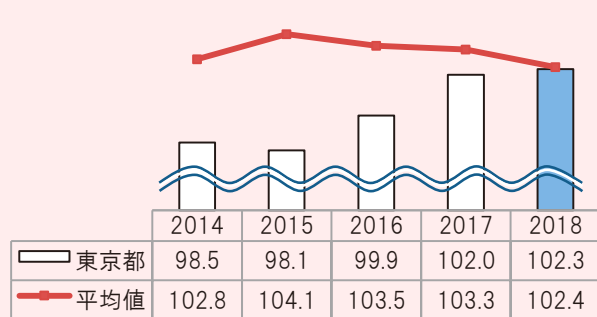
98.8%



経常収支比率 (%)

＝経常収益/経常費用×100

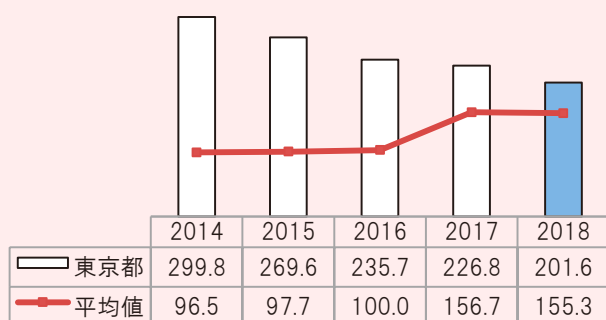
102.3%



流動比率 (%)

＝流動資産/流動負債×100

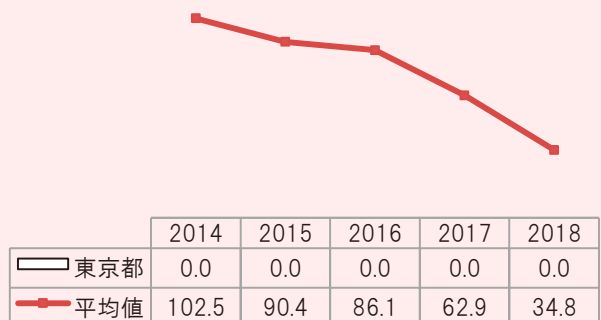
201.6%



累積欠損金比率 (%)

＝当年度未処理欠損金/営業収益×100

0%

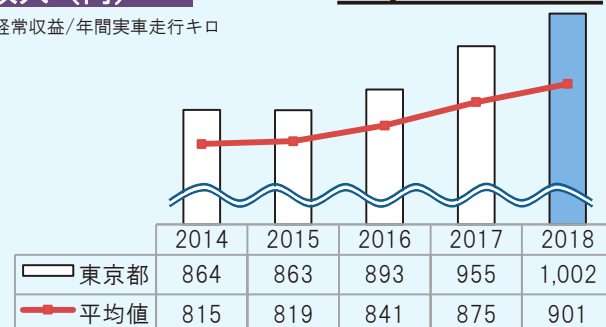


経営の効率性

走行キロ当たりの収入 (円)

＝経常収益/年間実車走行キロ

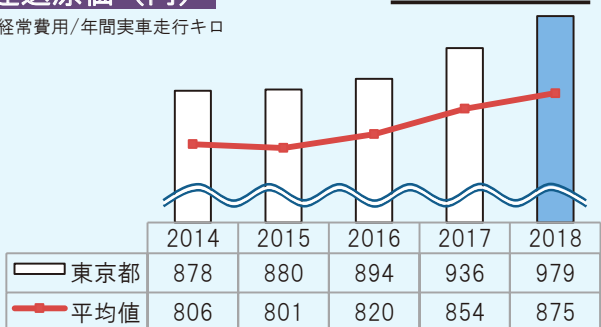
1,002円



走行キロ当たりの運送原価 (円)

＝経常費用/年間実車走行キロ

979円



経営の健全性

- 「営業収支比率」は平均値を上回っていますが、「他会計負担比率」が低い（他会計からの負担金や補助金が少ない）ため、「経常収支比率」は平均値を下回っています。
- 「利用者1回当たり運行経費」は平均値を下回り、おおむね横ばいで推移しています。
- 「企業債残高対料金収入比率」は車両の更新等に伴う企業債の発行により残高が増加したため、前年度より上昇しています。

経営の効率性

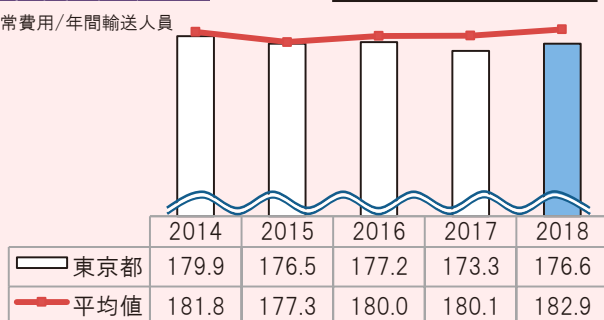
- 「走行キロ当たりの運送原価」及び「走行キロ当たりの人件費」は、東京23区における旅行速度が遅いことなどから、平均値を上回っています。
- 「乗車効率」は他事業に比べて低いものの、平均値を上回っています。

（注）経営の効率性の平均値は、東京都が所属する京浜ブロックに属する公営企業（東京都、横浜市、川崎市）が対象。

利用者1回当たり
運行経費（円）

176.6円

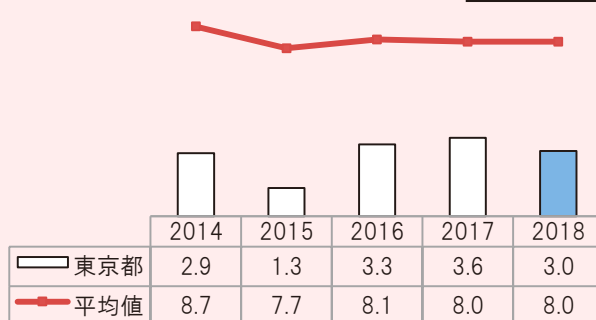
＝経常費用/年間輸送人員



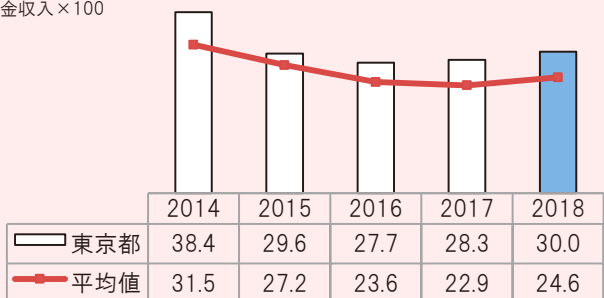
他会計負担比率（％）

3.0%

＝（他会計補助金＋他会計負担金）/経常費用×100

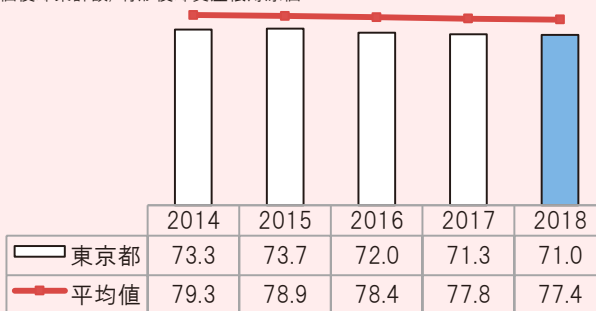
企業債残高対料金
収入比率（％）

30.0%

＝企業債年度末残高/
料金収入×100有形固定資産
減価償却率（％）

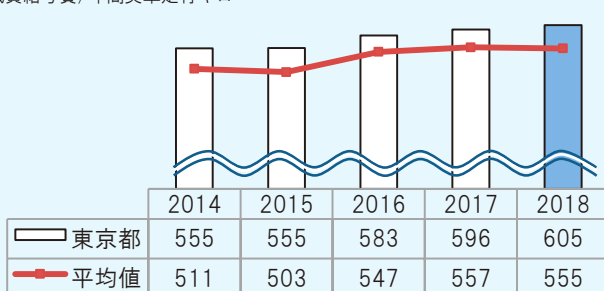
71.0%

＝減価償却累計額/有形償却資産帳簿原価×100

走行キロ当たり
の人件費（円）

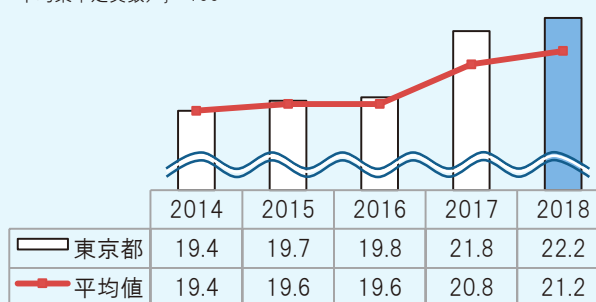
605円

＝職員給与費/年間実車走行キロ



乗車効率（％）

22.2%

＝〔延人キロ/（年間実車走行キロ
×平均乗車定員数）〕×100

3 経営指標比較（事業別） 【都営バス】系統別収支状況（2019年度）

系 番	統 号	区 間	損益額	収入	支出	乗車料 収入	乗車 人員	営業 係数
				(千円)		(千円/日)	(人/日)	
1	東22	錦糸町駅前～東京駅丸の内北口	315,884	1,103,110	787,226	2,771	18,016	71
2	品99	品川駅港南口～（品川埠頭循環）～品川駅港南口	250,826	652,261	401,435	1,658	9,965	62
3	都07	錦糸町駅前～門前仲町	247,603	1,254,295	1,006,692	3,116	21,177	80
4	新小21	西葛西駅前～新小岩駅前	179,296	824,796	645,500	2,056	13,930	78
5	北47	足立清掃工場前～北千住駅前	126,384	633,636	507,252	1,578	9,903	80
6	上58	早稲田～上野松坂屋前	115,711	658,808	543,097	1,627	10,552	82
7	錦25	葛西駅前～錦糸町駅前	108,151	943,280	835,129	2,325	15,983	89
8	都02	大塚駅前～錦糸町駅前	95,571	1,278,313	1,182,742	3,115	20,068	93
9	田87	渋谷駅前～田町駅前	94,318	704,940	610,622	1,709	10,512	87
10	王57	赤羽駅東口～豊島五丁目団地	90,436	604,401	513,965	1,492	9,589	85
11	上69	小滝橋車庫前～（上野公園循環）～小滝橋車庫前	70,163	442,351	372,188	1,090	6,903	84
12	草63	池袋駅東口～浅草寿町（往路）、雷門一丁目（復路）	54,994	774,415	719,421	1,890	12,152	93
13	白61	練馬車庫前～新宿駅西口	47,701	933,504	885,803	2,270	14,033	95
14	錦28	東大島駅前～錦糸町駅前	36,361	300,745	264,384	740	5,055	88
15	東16	東京駅八重洲口～東京ビッグサイト	34,167	684,344	650,177	1,658	10,024	95
16	池65	練馬車庫前～池袋駅東口	33,209	346,611	313,402	852	5,383	90
17	里22	日暮里駅前～亀戸駅前	27,134	493,368	466,234	1,203	7,949	95
18	飯64	小滝橋車庫前～（九段下循環）～小滝橋車庫前	26,993	322,989	295,996	789	4,955	92
19	品96	品川駅港南口～（天王洲アイル循環）～品川駅港南口	24,595	247,379	222,784	606	3,445	90
20	学06	恵比寿駅前～日赤医療センター前	22,037	185,740	163,703	455	3,373	88
21	都08	日暮里駅前～錦糸町駅前	19,667	675,548	655,881	1,640	10,721	97
22	新小22	葛西駅前～新小岩駅前	18,707	509,132	490,425	1,242	8,222	96
23	葛西21	葛西駅前～葛西臨海公園駅前	13,527	338,872	325,345	827	5,417	96
24	門33	亀戸駅前～豊海水産埠頭	11,034	502,770	491,736	1,224	8,225	98
25	端44	北千住駅前～駒込病院前	7,602	397,364	389,762	965	6,046	98
26	池86	池袋駅東口～（渋谷駅東口循環）～池袋駅東口	6,705	531,590	524,885	1,274	8,297	99
27	錦18	錦糸町駅前～新木場駅前	3,533	142,338	138,805	528	3,427	98
28	都04	豊海水産埠頭～東京駅丸の内南口	859	492,016	491,157	1,193	7,265	100
29	都06	渋谷駅前～新橋駅前	419	737,698	737,279	1,749	10,699	100
30	上46	南千住駅東口～上野松坂屋前	▲ 1,084	427,412	428,496	1,034	6,814	100
31	品93	大井競馬場前～目黒駅前	▲ 2,825	603,651	606,476	1,464	9,036	100
32	田92	品川駅港南口～田町駅東口	▲ 3,574	88,451	92,025	213	1,244	104
33	王55	王子駅前～新田一丁目	▲ 3,730	391,952	395,682	950	6,054	101
34	F L 01	葛西駅前～錦糸町駅前	▲ 3,898	22,164	26,062	148	1,031	118
35	直行02	豊海水産埠頭～東京駅八重洲口	▲ 4,580	4,737	9,317	15	96	197
36	練68	練馬駅前～目白駅前	▲ 6,140	3,348	9,488	19	123	283
37	井92	大井町駅東口～（八潮パークタウン循環）～大井町駅東口	▲ 8,256	273,799	282,055	662	4,187	103
38	飯62	小滝橋車庫前～都営飯田橋駅前	▲ 8,326	32,333	40,659	76	491	126
39	亀21	東陽町駅前～亀戸駅前	▲ 9,095	319,792	328,887	773	5,239	103
40	A L 01	東大島駅前～（小松川二丁目循環）～東大島駅前	▲ 9,405	17,779	27,184	61	540	153
41	都01	渋谷駅前～新橋駅前	▲ 9,468	937,997	947,465	2,145	12,545	101
42	王45	王子駅前～北千住駅前	▲ 9,815	111,766	121,581	269	1,686	109
43	平28	東大島駅前～（平井駅前循環）～東大島駅前	▲ 9,850	95,415	105,265	228	1,502	110
44	東42	南千住車庫前～東京駅八重洲口	▲ 9,955	533,790	543,745	1,288	8,219	102
45	東15	深川車庫前～東京駅八重洲口	▲ 11,278	264,434	275,712	636	3,904	104
46	C・H 01	新宿駅西口～（都庁第一本庁舎循環）～新宿駅西口	▲ 11,807	31,674	43,481	74	452	137
47	品91	品川駅港南口～（八潮パークタウン循環）～品川駅港南口	▲ 11,948	324,871	336,819	784	4,763	104
48	葛西24	船堀駅前～なぎさニュータウン	▲ 12,679	247,743	260,422	596	3,952	105
49	陽20	東陽町駅前～東大島駅前	▲ 13,216	42,040	55,256	98	666	131
50	錦40	南千住駅東口～錦糸町駅前	▲ 13,468	49,395	62,863	115	760	127
51	反94	五反田駅～赤羽橋駅前	▲ 13,906	14,800	28,706	32	188	194
52	錦22	臨海車庫～錦糸町駅前	▲ 14,446	80,394	94,840	191	1,265	118
53	田99	品川駅港南口～田町駅東口	▲ 15,922	13,628	29,550	28	171	217
54	宿91	新代田駅前～新宿駅西口	▲ 16,011	239,539	255,550	566	3,568	107
55	学05	目白駅前～日本女子大前	▲ 16,531	82,444	98,975	283	2,436	120
56	豊洲01	豊洲駅前～（豊洲一丁目・豊洲駅前・キャナルコート循環）～豊洲駅前	▲ 16,974	49,121	66,095	170	1,037	135
57	臨海22	臨海車庫～船堀駅前	▲ 17,885	36,248	54,133	83	555	149
58	早77	早稲田～新宿駅西口	▲ 18,877	204,235	223,112	485	3,080	109
59	急行05	錦糸町駅前～日本科学未来館	▲ 19,727	86,008	105,735	297	3,734	123
60	西葛27	西葛西駅前～臨海町二丁目団地前	▲ 20,000	252,192	272,192	606	3,996	108
61	王40	池袋駅東口～西新井駅前	▲ 20,144	1,350,737	1,370,881	3,273	20,907	101
62	新小20	東新小岩四丁目～之江駅前	▲ 20,533	35,467	56,000	79	502	158
63	茶51	駒込駅南口～秋葉原駅前	▲ 21,061	163,840	184,901	390	2,395	113
64	井96	大井町駅東口～（天王洲アイル循環）～大井町駅東口	▲ 21,129	56,706	77,835	131	792	137
65	井98	大井町駅東口～大井水産物埠頭前	▲ 21,786	56,490	78,276	163	961	139

系 番 号	区 間	損益額	収入	支出	乗車料 収入	乗車 人員	営業 係数
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円/日)	(人/日)	
66	臨海28 一之江橋西詰～葛西臨海公園駅前	▲ 22,054	567,408	589,462	1,370	8,851	104
67	亀24 葛西橋～亀戸駅前	▲ 22,958	295,554	318,512	710	4,834	108
68	渋66 阿佐ヶ谷駅前～渋谷駅前	▲ 23,181	214,560	237,741	507	3,098	111
69	草41 足立梅田町～浅草寿町	▲ 23,266	343,469	366,735	825	5,374	107
70	学03 渋谷駅前～日赤医療センター前	▲ 23,455	379,017	402,472	909	6,833	106
71	船28 船堀駅前～篠崎駅前	▲ 23,768	28,875	52,643	63	413	182
72	亀23 亀戸駅前～（江東高齢者医療センター循環）～亀戸駅前	▲ 24,472	121,213	145,685	287	1,932	120
73	橋63 小滝橋車庫前～新橋駅前	▲ 24,860	252,081	276,941	600	3,762	110
74	学01 東大構内～上野駅前	▲ 25,092	67,184	92,276	155	1,068	137
75	西葛26 船堀駅前～葛西臨海公園駅前	▲ 25,766	63,008	88,774	144	956	141
76	新小29 葛西駅前～東新小岩四丁目	▲ 27,574	360,146	387,720	860	5,597	108
77	亀26 今井～亀戸駅前	▲ 28,803	185,369	214,172	440	2,974	116
78	RH01 渋谷駅前～六本木ヒルズ	▲ 32,215	174,412	206,627	403	2,300	118
79	学02 高田馬場駅前～早大正門	▲ 32,618	273,668	306,286	651	4,530	112
80	東20 東京駅丸の内北口～錦糸町駅前	▲ 32,791	90,913	123,704	208	1,326	136
81	業10 新橋～とうきょうスカイツリー駅前	▲ 35,654	947,946	983,600	2,279	14,743	104
82	上60 池袋駅東口～上野公園	▲ 36,923	127,573	164,496	297	1,853	129
83	S-1 東京駅丸の内北口～錦糸町駅前	▲ 37,220	49,802	87,022	109	753	175
84	王78 新宿駅西口～王子駅前	▲ 37,698	389,463	427,161	922	5,864	110
85	錦11 錦糸町駅前～築地駅前	▲ 38,324	125,423	163,747	291	1,829	131
86	草39 金町駅前～上野松坂屋前	▲ 38,397	315,061	353,458	753	4,917	112
87	学07 東大構内～御茶ノ水駅前	▲ 38,860	72,666	111,526	163	1,092	153
88	宿74 新宿駅西口～東京女子医大前	▲ 38,905	141,809	180,714	318	2,009	127
89	草43 足立区役所～浅草雷門	▲ 39,129	132,070	171,199	309	2,035	130
90	錦27 小岩駅前～両国駅前	▲ 39,159	320,140	359,299	766	5,251	112
91	草24 東大島駅前～浅草寿町	▲ 39,193	128,282	167,475	297	1,996	131
92	亀29 なぎさニュータウン～亀戸駅前	▲ 39,905	405,908	445,813	973	6,733	110
93	秋26 葛西駅前～秋葉原駅前	▲ 41,329	339,604	380,933	804	5,333	112
94	西葛20 西葛西駅前～なぎさニュータウン	▲ 41,565	346,140	387,705	828	5,448	112
95	高71 高田馬場駅前～九段下	▲ 42,799	137,406	180,205	315	1,987	131
96	浜95 品川車庫前～東京タワー	▲ 44,285	58,519	102,804	127	776	176
97	錦37 青戸車庫前～錦糸町駅前	▲ 44,342	283,511	327,853	673	4,443	116
98	葛西22 葛西駅前～一之江駅前	▲ 45,023	69,348	114,371	154	1,032	165
99	梅76 裏宿町～上成木	▲ 45,276	107,543	152,819	243	1,865	142
100	王41 王子駅前～新田一丁目	▲ 46,694	199,969	246,663	470	2,995	123
101	品97 品川駅高輪口～新宿駅西口	▲ 49,762	414,523	464,285	984	6,175	112
102	都03 晴海埠頭～四谷駅	▲ 50,711	93,470	144,181	212	1,276	154
103	草64 池袋駅東口～浅草雷門南	▲ 51,118	444,248	495,366	1,060	6,846	112
104	梅77 裏宿町～河辺駅北口	▲ 52,019	60,425	112,444	129	919	186
105	梅74 裏宿町～（成木循環）～裏宿町	▲ 52,560	45,300	97,860	93	677	216
106	門19 深川車庫前～門前仲町	▲ 53,796	179,587	233,383	419	2,688	130
107	門21 東大島駅前～門前仲町	▲ 54,209	133,259	187,468	305	2,061	141
108	黒77 目黒駅前～千駄ヶ谷駅前	▲ 56,459	172,194	228,653	400	2,491	133
109	宿75 新宿駅西口～三宅坂	▲ 56,538	101,875	158,413	216	1,350	155
110	平23 葛西駅前～平井駅前	▲ 60,557	134,557	195,114	306	2,060	145
111	両28 葛西橋～両国駅前	▲ 62,381	187,607	249,988	436	2,929	133
112	反96 五反田駅～六本木ヒルズ	▲ 62,780	237,747	300,527	557	3,386	126
113	上26 亀戸駅前～上野公園	▲ 64,258	121,535	185,793	274	1,800	153
114	波01 東京テレポート駅前～中央防波堤	▲ 66,083	89,838	155,921	199	1,171	174
115	市01 新橋駅前～（築地中央市場循環）～新橋駅前	▲ 67,035	121,175	188,210	337	2,069	155
116	上23 平井駅前～上野松坂屋前	▲ 77,016	331,536	408,552	778	5,146	123
117	都05 晴海埠頭～東京駅丸の内南口	▲ 77,398	852,067	929,465	2,032	12,170	109
118	東43 荒川土手操車所前～東京駅丸の内北口	▲ 79,036	505,823	584,859	1,203	7,566	116
119	渋88 渋谷駅前～新橋駅前	▲ 82,866	133,080	215,946	279	1,669	162
120	木11 木場駅前～（東京テレポート・新木場三丁目循環）～東陽町駅前	▲ 83,799	382,708	466,507	890	5,476	122
121	早81 早大正門～（渋谷駅東口循環）～早大正門	▲ 84,034	112,613	196,647	239	1,489	175
122	橋86 目黒駅前～新橋駅前	▲ 89,247	127,865	217,112	281	1,769	170
123	錦13 錦糸町駅前～晴海埠頭	▲ 91,507	574,609	666,116	1,355	8,867	116
124	王49 千住車庫前～王子駅前	▲ 92,576	341,597	434,173	801	5,153	127
125	海01 門前仲町～東京テレポート駅前	▲ 101,035	698,151	799,186	1,653	10,887	114
126	陽12 東陽町駅前～昭和大学江東豊洲病院	▲ 101,887	137,101	238,988	300	1,985	174
127	品98 品川駅港南口～大田市場	▲ 105,795	269,755	375,550	623	3,650	139
128	里48 日暮里駅前～見沼代親水公園駅前	▲ 126,466	91,975	218,441	185	1,173	238
129	梅70 青梅車庫前～花小金井駅北口	▲ 215,935	216,604	432,539	473	2,604	200

(注)

- 1 運行受託路線は除く。
- 2 収入は、全体の金額を乗車人員等で各系統に配分している。支出は、全体の金額を年間の走行距離等で各系統に配分している。
- 3 乗車人員は、ICカードの実績等のデータを基に推計している。
- 4 営業係数は、その系統が100円の収入を得るために、どれだけの支出が必要かを示す数値
支出÷収入×100で算出し、営業係数100未満が黒字、100を超えると赤字



軌道事業/東京さくらトラム（都電荒川線）

東京さくらトラム（都電荒川線）は、三ノ輪橋～早稲田間12.2kmを運行しており、2019年度は、一日平均約4.7万人のお客様にご利用いただきました。

年間輸送人員

1,709万人

在籍車両数

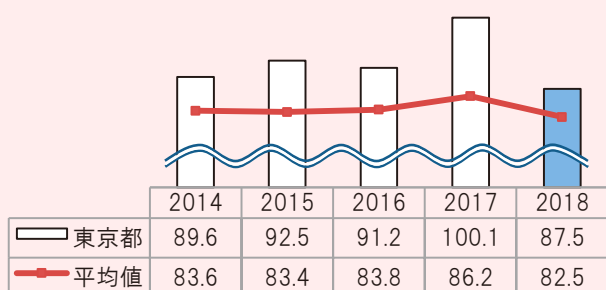
33両

経営の健全性

営業収支比率（%）

＝営業収益/営業費用×100

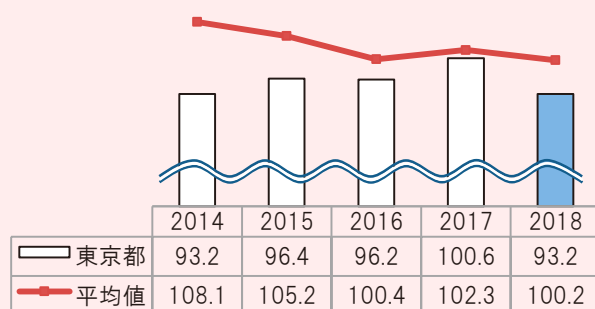
87.5%



経常収支比率（%）

＝経常収益/経常費用×100

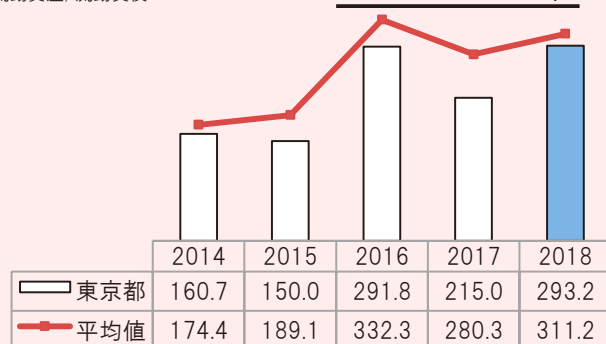
93.2%



流動比率（%）

＝流動資産/流動負債×100

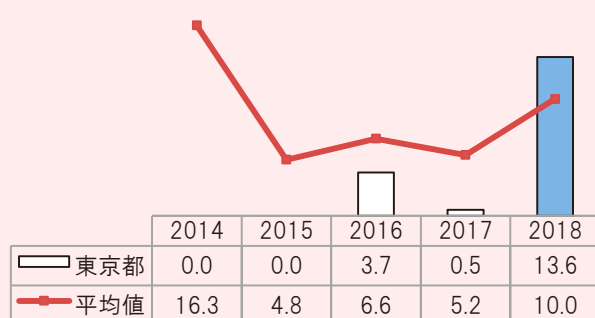
293.2%



累積欠損金比率（%）

＝当年度未処理欠損金/営業収益×100

13.6%

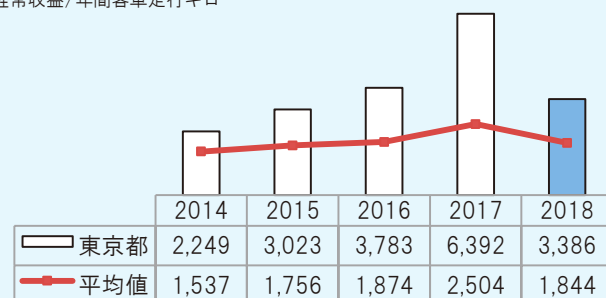


経営の効率性

走行キロ当たりの収入（円）

＝経常収益/年間客車走行キロ

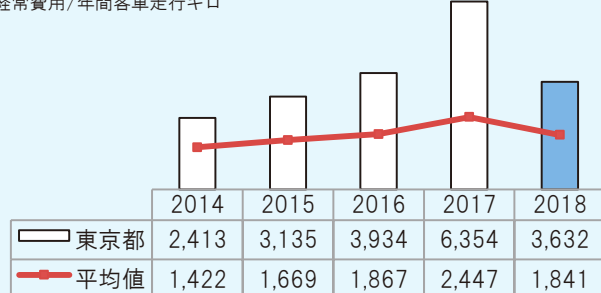
3,386円



走行キロ当たりの運送原価（円）

＝経常費用/年間客車走行キロ

3,632円



経営の健全性

- 「経常収支比率」は、車両の更新に伴う減価償却費が大きいことなどにより、平均値を下回っています。
- 「他会計負担比率」は平均値を下回っています。
- 「企業債残高対料金収入比率」は、車両及び設備の更新に伴って、企業債を発行した影響により、2015年度から上昇しています。

経営の効率性

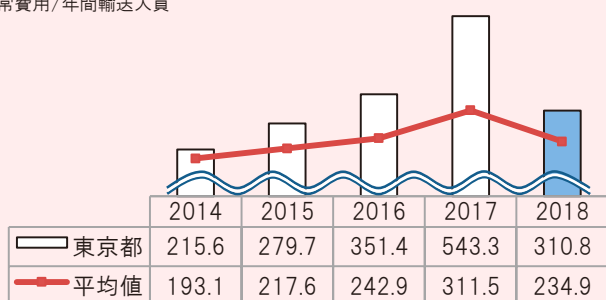
- 「走行キロ当たりの収入」及び「走行キロ当たりの運送原価」は、受託工事*1が減少したため、前年度より大きく減少しています。

*1 軌道に隣接する道路建設等の街路整備事業に伴い、交通局が建設局及び都市整備局から受託して行う、軌道移設や道路工事等

利用者1回当たり
運行経費(円)

= 経常費用 / 年間輸送人員

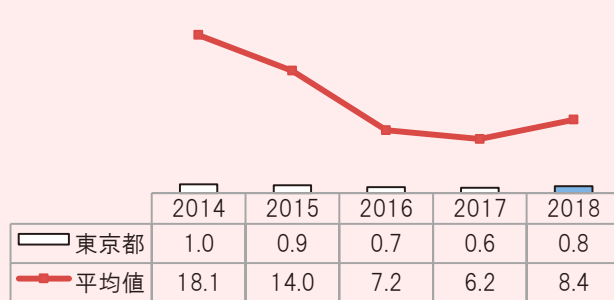
310.8円



他会計負担比率(%)

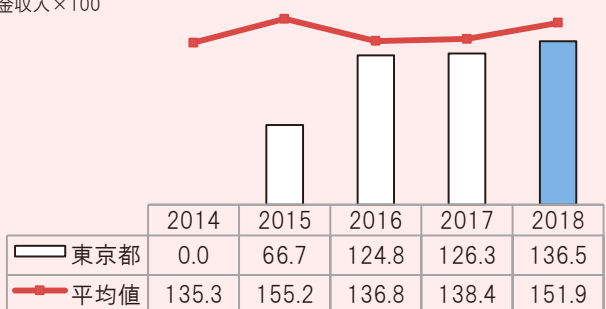
= (他会計補助金 + 他会計負担金) / 経常費用 × 100

0.8%

企業債残高対料金
収入比率(%)

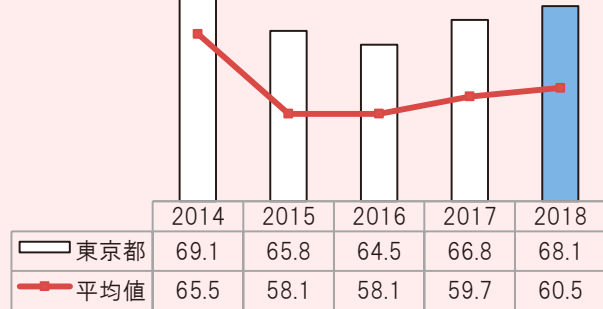
= 企業債年度末残高 / 料金収入 × 100

136.5%

有形固定資産
減価償却率(%)

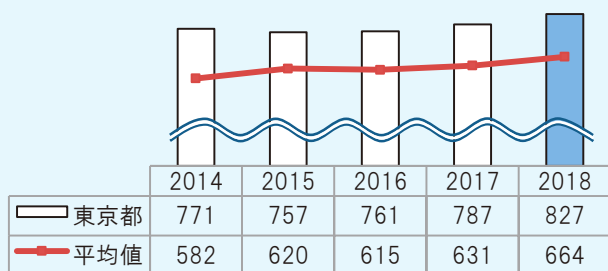
= 減価償却累計額 / 有形固定資産帳簿原価 × 100

68.1%

走行キロ当たり
の人件費(円)

= 職員給与費 / 年間客車走行キロ

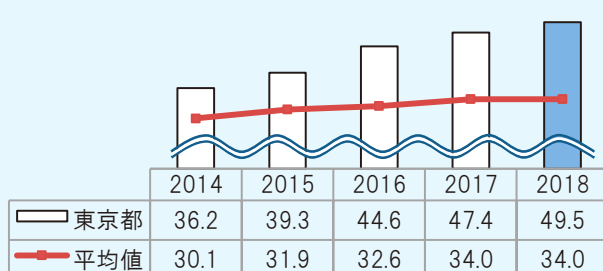
827円



乗車効率(%)

= { 延人キロ / (年間客車走行キロ × 平均乗車定員数) } × 100

49.5%





新交通事業 / 日暮里・舎人ライナー

日暮里・舎人ライナーは、日暮里～見沼代親水公園間9.7kmを運行しており、2019年度は、一日平均約8.9万人のお客様にご利用いただきました。

年間輸送人員

3,321万人

在籍車両数

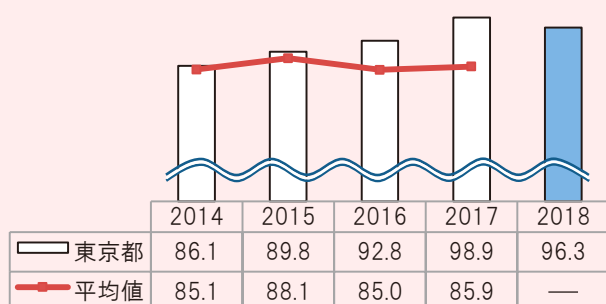
100両

経営の健全性

営業収支比率 (%)

＝営業収益/営業費用×100

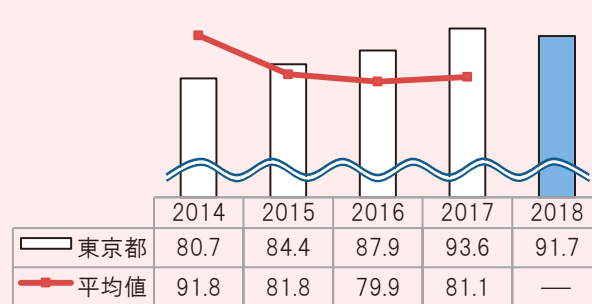
96.3%



経常収支比率 (%)

＝経常収益/経常費用×100

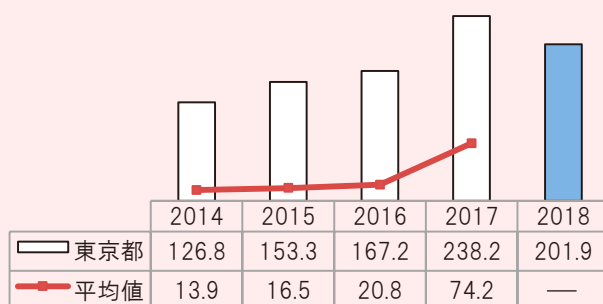
91.7%



流動比率 (%)

＝流動資産/流動負債×100

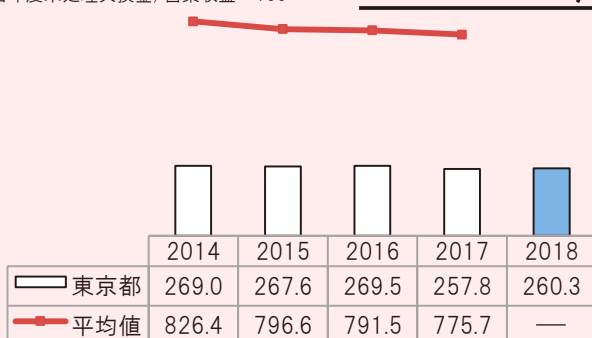
201.9%



累積欠損金比率 (%)

＝当年度未処理欠損金/営業収益×100

260.3%

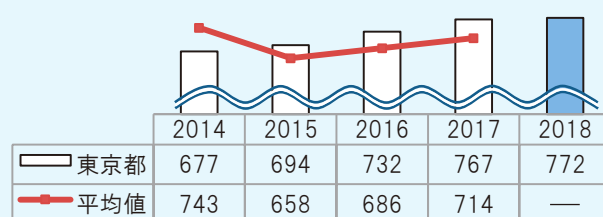


経営の効率性

走行キロ当たりの収入 (円)

＝経常収益/年間客車走行キロ

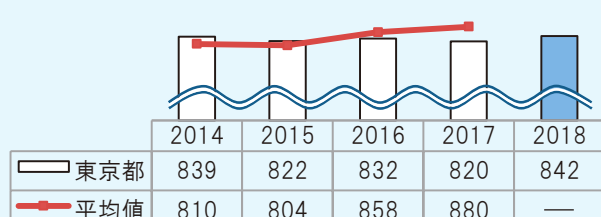
772円



走行キロ当たりの運送原価 (円)

＝経常費用/年間客車走行キロ

842円



経営の健全性

- 営業収益が増加したものの、修繕費などの費用が増加したため、「営業収支比率」及び「経常収支比率」は前年度より低下し、赤字が続いています。
- 「他会計負担比率」は他事業よりも低い水準にあります。

経営の効率性

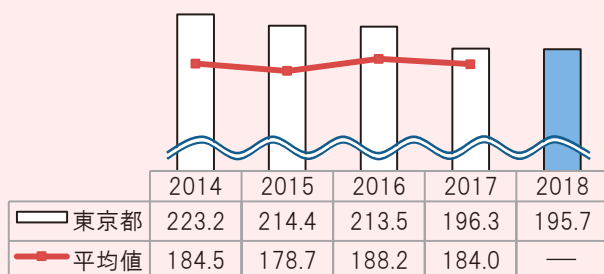
- 朝ラッシュなど、混雑率が高い時間帯がある一方、昼間や休日における乗車人員が少ないことから、「乗車効率」は上昇傾向にあるものの、高速電車事業や軌道事業の数値を下回って低い水準で推移しています。

(注) 総務省の公表数値を使用しているため、懸垂電車事業の数値は、新交通事業の指標に含む。
また、比較対象の団体(1団体)が2018年度に民営化したことから、平均値は2017年度までとしている。

利用者1回当たり
運行経費(円)

= 経常費用 / 年間輸送人員

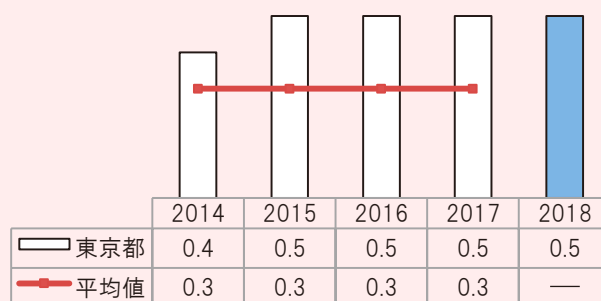
195.7円



他会計負担比率(%)

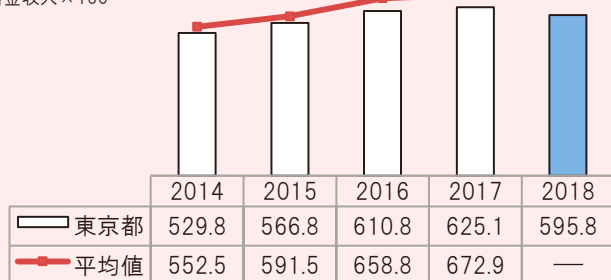
= (他会計補助金 + 他会計負担金) / 経常費用 × 100

0.5%

企業債残高対料金
収入比率(%)

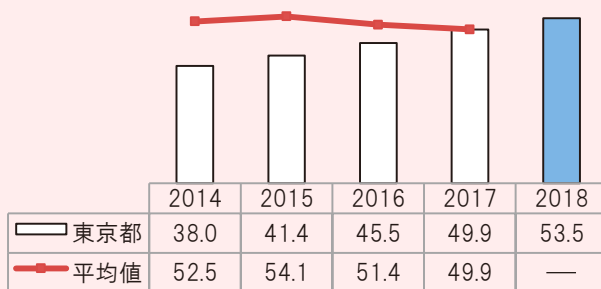
= 企業債年度末残高 / 料金収入 × 100

595.8%

有形固定資産
減価償却率(%)

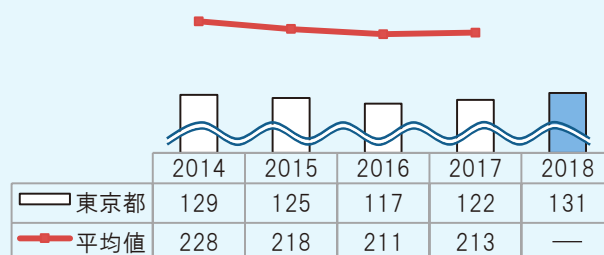
= 減価償却累計額 / 有形固定資産帳簿原価 × 100

53.5%

走行キロ当たり
の人員費(円)

= 職員給与費 / 年間客車走行キロ

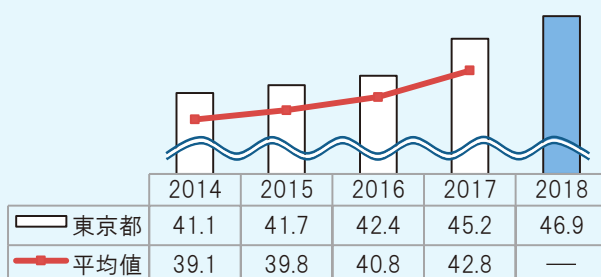
131円



乗車効率(%)

= { 延人キロ / (年間客車走行キロ × 平均乗車定員数) } × 100

46.9%



3 経営指標比較（事業別）

【日暮里・舎人ライナー】駅別一日平均乗降人員（2019年度）

（単位：人・％）

駅名	2019年度	前年比
日暮里	54,253	2.2
西日暮里	30,858	2.0
見沼代親水公園	13,719	2.6
西新井大師西	12,163	1.5
江北	10,912	3.6
谷在家	10,870	3.5
扇大橋	10,144	2.7
熊野前	9,677	△0.5
舎人	8,733	2.6
高野	6,295	2.0
赤土小学校前	5,216	0.2
舎人公園	4,760	4.4
足立小台	3,875	△1.4





電気事業 / 発電

電気事業は1911年に始まり、現在、多摩川第一発電所、多摩川第三発電所及び白丸発電所の3か所の水力発電所を運転しており、2019年度は、約12万MWhの電力を販売しました。

年間発電電力量

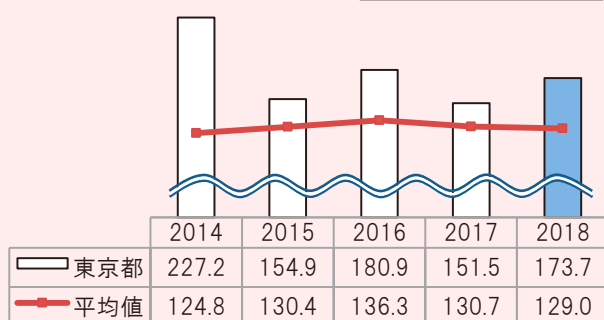
一般家庭 **35,000** 世帯分の使用量に相当

経営の状況

営業収支比率 (%)

= 営業収益 / 営業費用 × 100

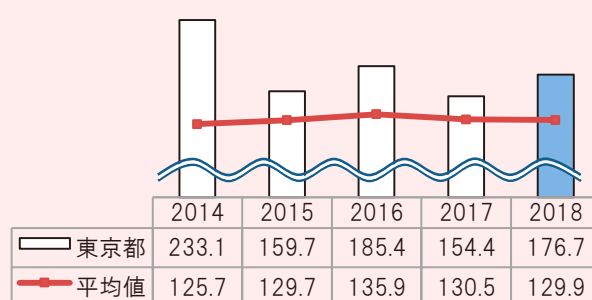
173.7%



経常収支比率 (%)

= 経常収益 / 経常費用 × 100

176.7%

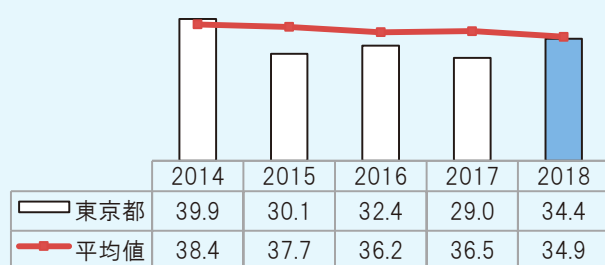


経営のリスク

設備利用率 (%)

= {年間発電電力量 / (最大出力 × 24h × 365日)} × 100

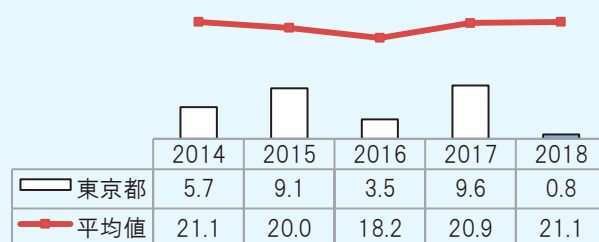
34.4%



修繕費比率 (%)

= {修繕費 / (営業費用 - 職員給与費)} × 100

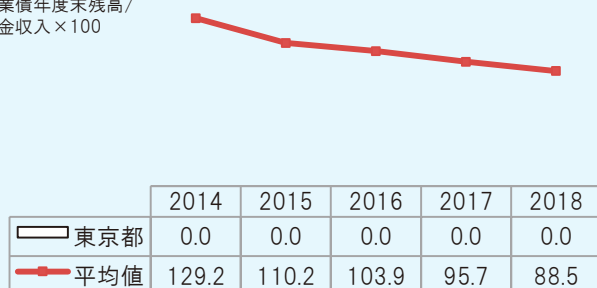
0.8%



企業債残高対料金収入比率 (%)

= 企業債年度末残高 / 料金収入 × 100

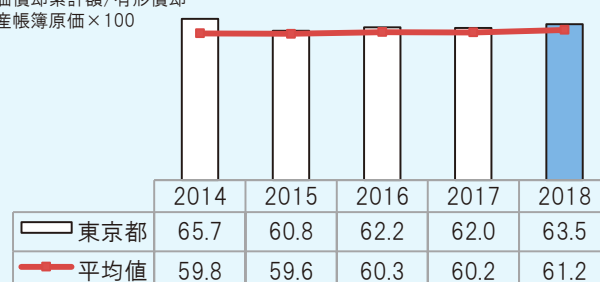
0%



有形固定資産減価償却率 (%)

= 減価償却累計額 / 有形償却資産帳簿原価 × 100

63.5%



経営の
状況

- 販売電力量の増加により電力料収入が増加したため「営業収支比率」及び「経常収支比率」は前年度より上昇しています。
- 「営業収支比率」、「経常収支比率」及び「流動比率」とも100%を上回って推移しており、経営状況は安定しています。

経営の
リスク

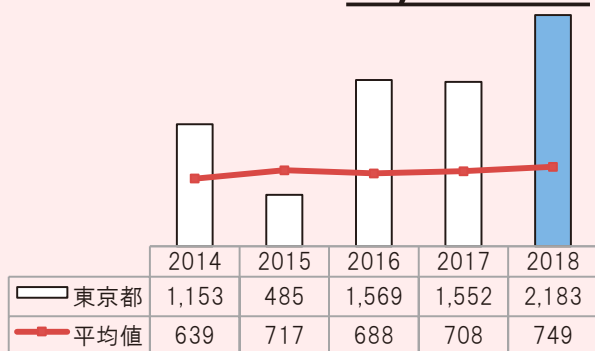
- 「設備利用率」はダム放流量の増減等により発電量が左右されることから、年度ごとの変動が大きく、2018年度は概ね平均値と同じ水準です。
- 「修繕費比率」は2013年度以降、堆砂量が少なく土石排除工事を行っていないことなどから、平均値を下回っています。

(注)「修繕費比率」については、経営レポート2018 から総務省公表の算出式に変更

流動比率 (%)

= 流動資産 / 流動負債 × 100

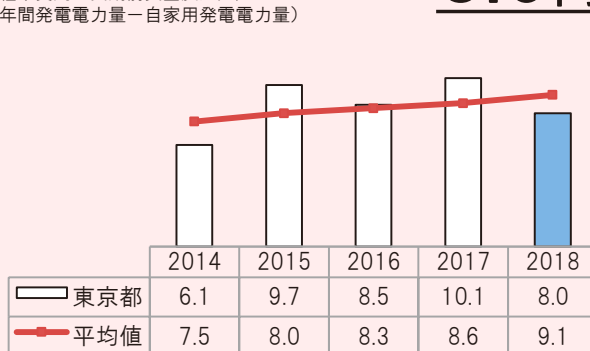
2,183%



供給原価 (円)

= (経常費用 - 長期前受金戻入) /
(年間発電電力量 - 自家発電電力量)

8.0円





関連事業 (不動産等活用事業・広告事業・構内営業事業)

関連事業とは、都営地下鉄、都営バス等の本来事業の経営基盤の強化に寄与し、質の高いサービスを提供するために、土地、建物などの資産の有効活用や広告事業を展開し、長期的に安定した収入を確保する事業です。

収入

(不動産等活用事業・
広告事業・構内営業事業)

123億円

主な事業

収入 (2019年度)

不動産等活用事業

事業跡地や鉄道高架下などの土地を、ビル・店舗・駐車場等の用地として、また、駅出入口ビル、局隣接地との共同開発等により建設したオフィスビルなどの貸付けを行い、賃貸料収入を得ています。

このほか、通信事業者に対し、駅やトンネル内への携帯電話等のアンテナ・基地局設置スペースの提供、光ファイバーケーブルの貸付けを行い収入を得ています。

79.6億円

(内訳)

・高速電車	44.6億円
・自動車運送	30.7億円
・軌道	3.6億円
・新交通	0.8億円
・電気	0.1億円

広告事業

地下鉄、バス、東京さくらトラム（都電荒川線）、日暮里・舎人ライナーにおける車両や駅、停留所等を活用し、ポスターやステッカー、デジタル広告などの販売により広告料収入を得ています。

また、地下鉄車内液晶モニターの増設や新規媒体の導入などに努めています。

34.0億円

(内訳)

・高速電車	27.5億円
・自動車運送	5.5億円
・軌道	0.5億円
・新交通	0.4億円

* 0.1億円未満の事業は除く

構内営業事業

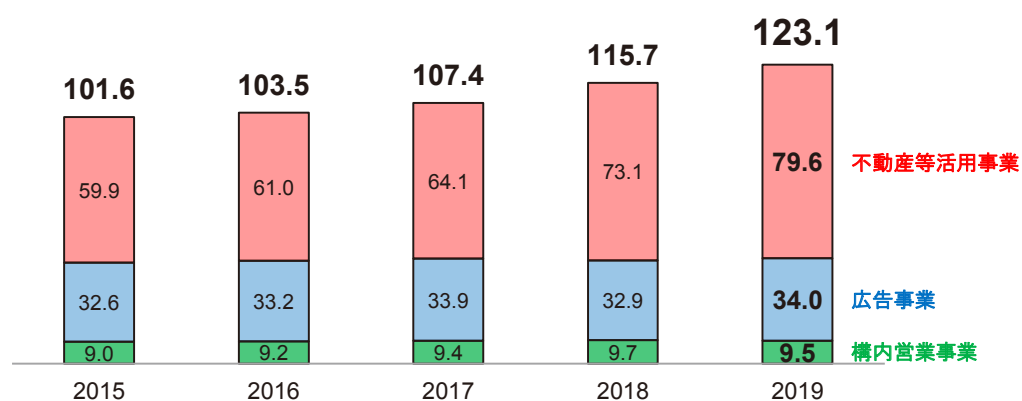
駅構内に店舗や自動販売機、期間限定ショップ、金融機関ATM、宅配受取ロッカーなどの様々な利便施設を設けているほか、PASMO電子マネーが使用できる店舗の拡大を通じて、お客様の利便性向上を図るとともに、構内営業料収入を得ています。

9.5億円

(内訳)

・高速電車	9.2億円
・新交通	0.2億円

関連事業収入（不動産等活用事業・広告事業・構内営業事業）の推移（単位：億円）



主なラインナップ（2019年度）

イメージ

- ＜土地＞ 建物敷地（オフィス・商業ビル）
店舗敷地
駐車場、駐輪場
- ＜建物＞ 共同ビル（目黒セントラルスクエア、ラティス
青山スクエア、東京交通会館、有楽
町駅前ビル“イトシア”）
駅出入口ビル（代々木クリスタルビル）
- ＜構築物＞ 光ファイバーケーブル
携帯電話、Wi-Fi（無線LAN）基地局



東京交通会館



目黒セントラルスクエア
有楽町駅前ビル（イトシア）



- ＜車両媒体＞ 中張りポスター
まど上ポスター
車内液晶モニター
ラッピングバス
- ＜駅媒体＞ 駅張りポスター
電飾ボード
駅構内デジタルサイネージ
- ＜停留所＞ 広告付バス停留所



車内液晶モニター



電飾ボード



駅構内デジタルサイネージ



広告付バス停留所

- ＜店舗・売店＞ メルシー売店
コンビニエンスストア
カフェ
期間限定ショップ
- ＜サービス機器＞ 飲料自動販売機
金融機関ATM
コインロッカー
宅配受取ロッカー



メルシー売店



コンビニエンスストア



飲料自動販売機



コインロッカー



宅配受取ロッカー

ホームページの情報公開ポータルでは、次の内容を紹介しています

- (1) 交通局の概要
(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/service/>)
- (2) 東京都交通局経営計画及び進捗状況
(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/plan/>)
- (3) 予算
(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/budget.html>)
- (4) 決算
(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/closing/>)
- (5) 情報公開の状況
(https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/koukai/open_situation.html)
- (6) 要綱・要領一覧
(https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/yoko_yoryo/)
- (7) 東京都交通局のサービス推進活動
(https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/koukai/promotion_activity.html)
- (8) 自律改革に向けた取組
(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/koukai/reform.html>)
- (9) 公金支出情報
(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/koukai/koukin.html>)
- (10) 職務に対する働きかけの対応状況
(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/koukai/hatarakikake.html>) など



※ (1) ~ (5) へのリンク



※ (6) ~ (10) へのリンク

このレポートに対するご意見・ご要望をお寄せください

お寄せいただいたご意見・ご要望を参考とさせていただき、より分かりやすい経営情報の発信に努めます。

ご意見・ご要望などは、交通局ホームページの「ご意見・ご要望」のページをご利用ください。

東京都交通局ホームページ > お問い合わせ > ご意見・ご要望
(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/enq/opinion/>)



都営交通お客様センター

都営交通に関するお問い合わせ全般を承っております。

午前9時～午後8時〔年中無休〕

電話番号 03-3816-5700

FAX 03-3812-7640

※自動音声ガイダンスに従って、下記の3つのうちからご希望のお問い合わせ内容にあわせて番号をお選びください。

1番：運賃・時刻・ルートなどのお問い合わせ

2番：お忘れ物などのお問い合わせ

3番：その他、ご意見・ご要望など

お客様からの声についても、情報公開しております。

<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/eng/customer.html>



東京都交通局2020経営レポート

令和3年1月発行

編集・発行

東京都交通局

総務部 財務課

所在地 163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話番号 03-5321-1111（代表）

会社名 株式会社ミニカラー

所在地 101-0025 東京都千代田区神田佐久間町3-23 スタウトビル5F

電話番号 03-3862-0626（代表）

すべての「今日」のために。

